市町村名	_	読谷村		1.1 1 tt 3 tt) A - - alle	·	1 1/1 1 1 4 ==					
	平	成30年度	沖縄振興特別	削推進 <mark>交</mark>	付金事業(市町本	付分)検証	シート				
事業番号 ・事業名	1-	① 読谷額	現光・物産アピールと	:スポーツコン	ベンション誘致	促進事業	7 1 4-5-	1世紀ビジョ 十画該当箇所	<u> </u>	3章-3-(2 	!)− 1 -誘客活動の	
担当部課名	ゆたさ	むら推進部 彦	j工観光課	事業実施(予定)年		₹~令和3:	年	長興基本方針 該当箇所	展開	Ⅲ -1-(1		
事業内容	る。		秀致を図るため、誘致 シトを行うことで、来			- 一ムの本			行うことで本村	の認知度	向上を図	
効果発現年度	= :	当年度	□後年度(年度)								
実施方法	■ī	直接実施	□委託	l補助	口負担	ロその)他()					
			H26年度		H27年度	H	28年度		9年度	H30	0年度	
	-	7		,760	18,700		25,86		23,958		20,882	
	算	b) 予算現額		,560	17,730		23,76		20,882		19,352	
	状	c) 増減額(b-a)	_ 5	,200	▲ 970		_ 2,09	9	▲ 3,076		▲ 1,530	
予算額 · 執行額	況	d) 繰越額 A. 計(b+d)		.560	17.730		23.76	0	20.882		-	
【単位:千円】	R			,821	16,210		23,76	-	20,882		19,352 19,112	
(「交付金」+ 「市町村負担」	ļ	ち交付金充当額		,856	12,968		18,42	-+	16,489		15,289	
ベース)	<u> </u>	次年度繰越額		0	0			0	0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		率 (%) (B/A)	8	9.5%	91.4%		96.9	%	98.7%		98.8%	
	予算	の状況の説明	概ね事業計画どおり	り予算を執行	した。							
		H30活動目	票(指標)					達成状況				
		1100/日均口标(引加水			H29年月	Ē	H30年度		H31年度	H	32年度	
	各種スポーツキャンプ・大会誘致活動(4 回)			目標	(4回)	(4回) ()) ()	
	四)			実 績	2回		1回					
				目標	(3回)	(3回) ()) ()	
活動目標 (指標)	読谷観	R光PR活動(3回)		実績	4回		4回					
及び達成状況				目標	(2目)	(1 ₀) () ()	
	キャン 回)	プ期間中の集客・	イベントの開催(1			/		/ (,	
		大車業では事	業開始から6年を終	実績	2日	去部中口	1回	- カ 右 郷 (差) 「	東 米 た 行 っ て い	Z		
	達成	H30年度にお	ハては、各種スポー、	ソキャンプ・オ	会誘致活動は	回のみの)活動となった	が、それで	もキャンプ誘致	件数は増;		
	状	ると考える。	。この点に関して、来								.,	
	況説	誘致活動の洞と考えている。	iから、読谷観光PR活	舌動を増やし	、目標数の3回	を上回り、	実績数は4回]となった。 숙	が後も観光PRIC	注力する	必要がある	
	明	キャンプ期間	中の集客イベントにお	おいては、チ-	_	中心に、県	:内外より多く	の来客数が	みられた。			
		H30成果目	票(指標)		基準値 年度)	H	29年度	H30年度	H31年月	度	目標値 (年度)	
	0			目標	() (20	0団体) (21団体)	()	
	スホー	ツコンベンション	誘致件数21件以上	実 績		2	21団体	28団体				
				目標		(60	,000人) (人000,08)			
成果目標	誘客イベント時観客数80,000人以上		0,000人以上	実 績		67	7,881人	77,371人				
(指標) 及び進捗状況		011-55 1 - 1 15		目標		(4,	000人) (16,532人)			
	キャン	/ブ期間中の釆場	·者数16,532人以上	実 績		11	1,000人	35,400人				
	進捗状況説明	チーム本拠地 連した活動とな	ンプ・大会等の誘致派における誘客イベンっている。 ・チームや選手などか	トでは本村の	PR活動を行い	、さらにチ	一ム代表など	への表敬も	行うことができ、	、キャンプ	誘致にも関	

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

組 の 検

ラグビーワールドカップ2019、2020東京五輪の影響を受け、さらなるスポーツコンベンションの受入が予想されます。使用スポーツ施設などのコンディ ション維持に関係課と協力し対策を行う必要があります。一例として、野外施設であれば、キャンプチームの施設使用順番によっては芝の状態が悪い時 にあたり、チームからキャンプ環境への苦言が呈される等があります。

観光誘客イベントの実施から、冬季から春季にかけたスポーツキャンプ時 に来村するスポーツチームのファン層の観光客は年々増加している。2019年 2020年はさらなるスポーツ子と体の盛り上がりが期待されることから、観光時 2020年はさらなるスポーツスポーツをは上がりが期待されることから、観光時 客にはさらに力を入れ、『スポーツキャンプ地読谷村』というブランドの確立を一波及した、スポーツを通した村・人づくりができる事業展開を目指す。 図ります。

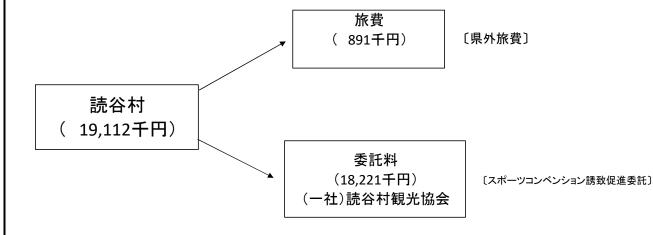
施設管理を所管する関係課との協議やキャンプチームへの施設に対する 理解促進を図り、可能な限り受入を進めることができるよう最大限の努力を

今後の取り組み方針

現在、本村でキャンプを行うチームの本拠地開催の試合へ出向き、PRブースを設け、特産品や観光冊子等を中心とした誘客活動を展開します。 -ムホームページ等でのPR活動情報の発信や、観光協会・本村キャラクターのSNSなどへのアクセスが増えるような取り組みを行います。

資金の流れ

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
19,112	19,112	15,289	3,823	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、実績などを勘案したうえで選定しているため、妥当である。
点れ	0		○予算規模については、少額の不用が発生したが事業目標などは概ね達成されているため適正な予算規模であったと考えられ
検算価	_		る。 ○費目・使途等については、額の確定時において支出などに関す
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	る書類により確認、適正であった。

市町村名		Ē	売谷村																			
	<u> </u>	☑成3	0年度	沖縄振興	特別	推	進交付	寸金	事業(市	町	村分	<u>}) 検</u>	証シ	_	٢	【公	表用				
事業番号 • 事業名	1	-2			危険	生物	駆除事業	É						21世紀			,	复	第3章	t-3-	-(2)-エ	
7 2						事業実施 亚卡尔 22年 年			基本	計画語	亥当	箇所	街	光客0)受/	(体	制の整備	Ħ				
担当部課名	総務	部 生活	舌環境課				定)年度	平	成25~33	3年	度		沖縄振興基本方針 該当箇所					Ш	-1-	-(1)		
事業内容	生してにも	ている。 早期の駆	また、これる 区除活動の	対象となっている まで近隣市町村 強化が必要であ 滅らすことで、	でのa ある。ま	を捕獲 来村す	された」	女撃性 客や行	Eの強い 「楽客、	タイ	ワン	ハブの	の捕獲引	事例がえ	卜村	でも	発生し	ており	し、そ	の蔓	延を防く	ぐため
効果発現年度		■当年度	Ę	□後年度	(年月	隻)															
実施方法		直接実	施	■委託		補助		□負	担	- 1	□そ(の他	()								
	_	(-) N/ + T	7 W 45	H26年月		F70	H2	27年度	-		ŀ	128年		000		H29:	年度	7.000	_		H30年度	
	予	(a) 当初 (b) 予算]予算額			576 975			7,349 7,349				•	090 180				7,606 5.802				7,607 6,048
	算 の		L現領 【額(b−a)		4 ,:				7,349				o, ▲ 1,9				_	5,802	-			1,559
- At-45	状	(d) 繰越		_	▲ 5,	001		_	U			_	A 1,3	910				1,004	1			1,559
予算額 · 執行額	況	(11) 11/11/	+ (b+d)		4.9	975			7,349				6.	180				5,802	,			6.048
【単位:千円】		B. 執行				939			5,894					179				5,802				6,048
(「交付金」+ 「市町村負担」		うち交付	金充当額		3,	951			4,715				4,9	943				4,642	<u></u>			4,838
ペース)	;	次年度繰越額			0	· ·					0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0		0						
	執行] 率(%	(B/A)		99	9.3%			80.2%				100	0.0%				100.0%)			100.0%
	予算の状況の説明 計画的な予算執行 指名競争入札にる																					
		H	30活動目標	票(指標)			_							達原	坎	:況						
									H27年月	麦			H28年	度			H294	F度			H30年原	度
	#:+ r#1	の細火は	めに各陸生	物であるハブの)抽	目	標	(設置)	(設置	E)	(設	置)	(設置	.)
		を400器		170 (0) (0) (1) (0.	71Н	実	績		設置完	7			設置完	己		į	设置:	完了	1		設置完	
						日	標	(25回)	(25)	(24[回)	(24回)
活動目標	定期:	巡回•管	理の実施な	及び処分								`			+	`			$\stackrel{\prime}{+}$			•
(指標) 及び達成状況							績		26.8回				25.8	<u> </u>			29.1	回	4		30.6回	
	6 降	周知看却	反100枚の旬	 空理		目	標	()	(100	枚)	(100	枚)	(100杉	女)
		15) AR (2)	X100 X07			実	績						100村	女			100	枚			100枚	
	達成状況説明	・また	≥捕獲する	中旬に委託第 ためのエサと 数を上回る結	なる	マウス	を飼育							目処に	<u> </u>	回∙捕	獲器	の管理	浬を彳	行っ	た結果、	•
		Н	30成果目標	票(指標)				<u>‡</u> (基準値 年度)		H	128年	度	H	29年	F度		H304	丰度		目標 (年	値 度)
	村内におけるハブによる観光客や村民の 咬傷被害数:0件		-M	目	標(,	-)	(0)	(0) (0)		(-)		
			,00	実	績		/			1			1			1				/		
成果目標 (指標)	【参考指標】					目	標(-)	(1002	匹)	(100匹)) ((100匹)			()
及び進捗状況					実	績		/		133匹		-	170匹 160匹		匹			/				
	進捗状況説明			ると捕獲数は》 イワンハブの捕							被害	: 1件	発生。	•			•					

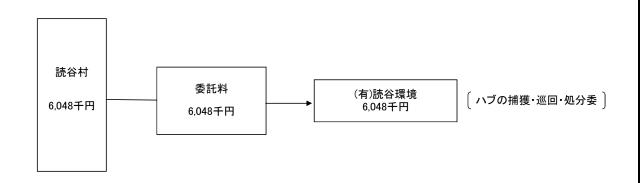
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・今年度のみではないが、契約期間外(3月末~4月当初)における咬症被 害防止や個体数増加抑制のため、毎年度早期着手が必要と考える。 取 ・年度当初からの着手を目指し、早期の業者選定、入札執行を図る。 組 ・今年度も咬症被害が発生し、ハブの活動エリアの注意喚起の強化が必要 の と感じる。捕獲器周辺に設置している注意喚起看板の徹底管理により、歩行 ・事業の概要や読谷村におけるハブ被害の現状について、HPやFMラジオ 検 者等への周知と安全確保が必要。 を通しての周知をさらに高める。 証 ・巡回実数は増加しているが、捕獲数は前年より若干減少しており、設置エ ・捕獲数の差やタイワンハブの拡大阻止のため、捕獲器設置箇所の再検 リア毎に捕獲数の差も見受けられる。また、沖縄本島において生息域を拡大 けている外来種のタイワンハブの捕獲数が増えているため、村内における、 ハブの活動エリアを再検証する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・年度当初において更なる早期着手を図り、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置し、危険性の除去向上に努める。
- ・捕獲器設置及び注意喚起看板の維持管理を行う。定期的な捕獲数の検証を行い、設置箇所の改善等の検討を行う。
- ・HPや応報誌、FMラジオを活用し、村民及び観光客に対しハブ被害の現状や事業の理解と協力を得るために、更なる広報活動を行う。

資金の流れ

糸	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	6,048	6,048	4,838	1,210	0



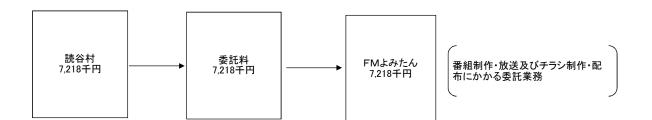
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。 県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	の予算規模として不用額は、全て入札残であり、適正な規 模であった。
評費	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	(やくめった。 〇の 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する
ı III	0		書類により確認、適正であった。

市町村名		読谷村											
	4	☑ <mark>成30年度</mark>	沖縄振興特別	川推達	進交付	金事業(市町村	付分) 核	証シ ー	- - [公表用		
事業番号	1	一③ ヨミタンJC)HO発信事業(ヨミタン	ン観光		 Rラジオ番組	制作・放記	严	縄21世紀		第	.3章−3	ー(2)ーイ
* 学术口		<u> </u>							本計画該	当箇所	市場特性(展開	こ対応	した誘客活動の
担当部課名	ゆた	さむら推進部 商	江観光課		業実施 定)年度	平成25年~	·33年	沖	縄振興基 該当箇			Ⅲ −1·	-(1)
事業内容			する観光客を、国道: ノンタカー利用者に面									の異動	想定時間帯に
効果発現年度		■当年度	□後年度(年月	隻)								
実施方法]直接実施		補助]負担)他()				
		The second secon	H26年度		H27	7年度	Н	28年度		H29年			H30年度
	予	(a) 当初予算額		5,636		6,876			7,506		7,218		7,218
	算	(b) 予算現額	б	5,636		6,876			7,506		7,218		7,218
	の 状	(c) 増減額(b-a)		0		0			0		0		0
予算額・ 執行額	(d) 繰越額 A. 計 (b+d)		- 6	5.636		6.876			7.506		7,218	7,21	
【単位:千円】	B. 執行済額 6			5,636		6,876			7,506		7,218		7,218
(「交付金」+ 「市町村負担」				5,199		6,574			7,216		7,218		7,218
ペース)	次年度繰越額			,959		5,258			5,772		5,774		5,774
	執行	· 字 (%) (B/A)	10	0.0%		100.0%		1	00.0%		100.0%		100.0%
	予算	算の状況の説明	事業計画どおりに執	丸行を行	すった。				<u> </u>	· 10.000			
		H30活動目標	票(指標)						達成	1			
						H28年度	Ę	H29	年度	НЗ	30年度		H31年度
	コミュニティFM放送を活用した観光情報の 提供			目	標 (実施)	(実	※施)	(実施) ()
活動目標				実	績	実施		実	実施		実施		
活動日標 (指標) 及び達成状況	レンゔ	マカードライブMAP・	への記事掲載	目	標 (実施)	((施)	(実施) ()
				実	績	実施		実	施		実施		
	達成状況説明	平成27年度ま	平成30年4月10日〜 での活動目標は「都 発行する「レンタカー。	観光情	報の提	供チラシ作品 」への記事掲	戈」だった	が、委託					対して情報の
		H30成果目標	票(指標)			基準値 (年度)	Н	28年度	H29	9年度	H30年	度	目標値 (年度)
	視聴	者からのメール受付		目	標 () (6	550件)	(1,5	520件)	(1,419件	‡)	()
				実	績	/	1	,395件	1,0	007件	911件	ŧ	
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	指標 】		目	標 () ()	()	()	()
20 20 700				実	績	/							
	進捗状況説明	標達成には至ら	成30年4月10日~平 らなかった。	成31年	F3月16日	1)は毎日放送	を行い、	多くのレン	/タカー利)	用者へ読	谷村の情報	発信に	こ努めたが、目

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	主りなかつに。メールは达信していないか放达を聞いて竹内を訪れている ケーフェキストは、成甲日煙の再設字(村内への入域網半皮数等)を表慮す	(視聴者からのメール受信) 引き続き読谷村内の観光情報を発信し、委託事業先と連携をとりながら、 メール受信につながるような番組構成に努めるとともに、成果目標の再設定 について検討を行う。
	A 46	- 1.41

(視聴者からのメール受信) 引き続き事業期間中は毎日放送し、メール件数の増加に繋げるため、委託事業先との連携を密にとり観光客への情報提供を行っていく。 検討を行った成果目標について次年度以降設定できるよう取り組んでいく。

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
7,218	7,218	5,774	1,444	

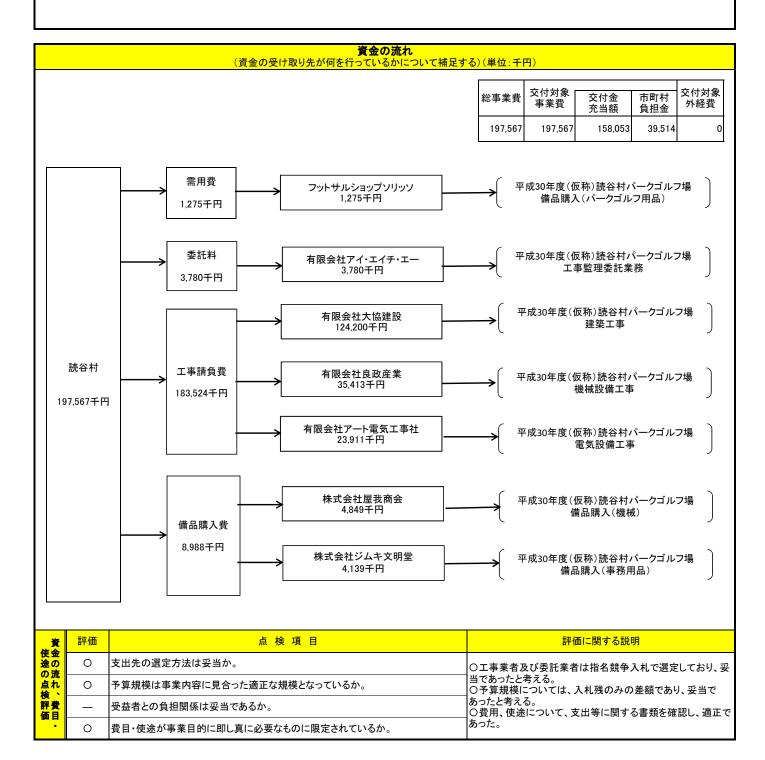


資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流の流	0		〇県内コミュニティ放送局3社からの見積徴収により、読谷 村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先に選定
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は見積及び前年度の実績等を考慮し設定して
評費価目	_		〇ア昇放候は元稹及び前十度の美積寺で考慮し設定して おり、適正であったと考える。 〇費目、使途については事業目的に応じて、適正なもので
illeg her	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	し負目、便速については事業目的に応じて、適正なものであったと判断した。

市町村名	読谷村								
	平成30年月	度沖縄振興特 児	別推進交付	<mark> 金事業(</mark>	市町村分) 村	検証シー	・ト【公表	用】	
事業番号・事業名	1-4	(仮称)読谷村	パークゴルフ場	整備事業		中縄21世紀		第3章-3	-(2)-7
7.4			市祭中华			基本計画該	当箇所 国際立	くいな沖縄観光	光ブランドの確
担当部課名	建設整備部 都市計画	課	事業実施 (予定)年度	平成27~30年	度	沖縄振興基施 該当箇		Ⅲ −1·	-(1)
事業内容	平成24年度に策定されらパークゴルフ愛好者を に資するため、建築工事	誘客することにより、	観光振興を図る	と同時に、地域					
効果発現年度	□当年度	■後年度(令和	元年度)						
実施方法	■直接実施	■委託□□	補助 □]負担 [□その他()			
		H27年度	H28	年度	H29年度		H30年度		H31年度
	(a) 当初予算額	4,	,546	27,598	2	97,890	20	7,021	
	(b) 予算現額	4,	,546	18,644		77,472	20	7,021	
	の (c) 増減額(b-a) 状 (c) 48 + 8 + 7		0	▲ 8,954	A :	20,418		0	0
予算額 • 執行額				-		-		-	0
【単位:千円】	A. 計(b+d)		,546	18,644		77,472		7,021	0
(「交付金」+ 「市町村負担」			,212	18,644		77,472 02.703		7,567 8.053	
ペース)			,369	14,915		02,703	10	0	0
	執行率 (%) (B/A)	9	2.7%	100.0%		100.0%		95.4%	#DIV/0!
	+X(1) + (70) (5/10)	3.	2.170	100.0%		100.0%		30.470	#BIV/ 0.
	予算の状況の説明	発注においての入 事業については計							
	H30活動目標	票(指標)					状況		
	1100713371	K (10 DK)		H27年度			1 77		H30年度
	パークゴルフ場のクラブ	ハウスの建築工事	目標 (基本設計の実	施)(実施制	設計の実 施	トの実) (土木工事の実施		建築工事の 実施
活動目標	の実施		実 績	基本設計の実	施 実施設	計の実施	実施 土木工事の実施		皇築工事の実施
(指標) 及び達成状況			目標() ()) ())
			実 績						
	達成 状況 パークゴルフ 説説 明	場の建築工事等を	予定どおり工具	期内に完成する	ることができた。	0			
	H30成果目標	票(指標)		基準値 (年度)	H28年度	H29	年度	H30年度	目標値 年度)
			目標()	(実施設計) の完了		江事 日子)(建築工事の完)	()
	建築工事の完了		実績	/	実施設計の完	:了 造成工	事完了建第	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】		目標()	()) () ()	()
			実 績						
	進 排 状 (仮称)読谷村/ 説 明	ペークゴルフ場の建築	エ事を実施し完		H31年度の供用	開始に向け	取り組むことが	できた。	

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今年度の取組みでパークゴルフ場の建築工事を完成することができた。 建築工事が完成したことで、村民等から早期の供用の期待が寄せられており、予定どおり4月に供用することができた。 今後は、利用者の誘客が重要になる。	利用者の誘客のために、村ホームページやパークゴルフ季刊誌等への掲載を 行い、村内外へ情報発信していく必要がある。
	今後の取り	R 그 士의

パークゴルフ場の供用に伴い、インターネットや広告等で情報を発信し、利用者の誘客及び観光客の誘致に取り組んでいく。



市町村名		読谷村												
		平成30年月	<mark>隻沖縄振興特</mark>	扫别拍	推交位	寸金事業(市町	村分	検証	Eシー	· ト【4	公表用】		
事業番号 • 事業名	1	1-⑤	読谷に一びち	親光客	字誘致プロ	ジェクト事業				21世紀		市場特性に		-(2)-イ した誘客活動の
担当部課名	ゆた	さむら推進部 商	打観光課		事業実施 予定)年度	平成29年~	·令和3年	F		振興基:		展開	Ⅲ-1-	-(1)
事業内容		ートウェディングを目 ■ 当年度	目的とした観光客に3		国内外で	のプロモーショ	シ、村内	内での分	受入体制	制強化を	はかり、	さらなる観光	客の増	加を促進する。
実施方法				 □補助			ロその	の他()					
JUNE 1	-	- EIXX.110	H29年度			0年度		H31年月			H32年	度		H33年度
		(a) 当初予算額		10,355		2,762								1100
	予	(b) 予算現額		8,099		1,692								
	算 の	(c)增減額(b-a)	A	2,256		▲ 1,070								
予算額・	状況	(d) 繰越額	_			_								
執行額	IJυ	A. 計 (b+d)		8,096		1,692								
【単位:千円】		B. 執行済額		8,096		1,646								
(「交付金」+ 「市町村負担」	ļ [=	うち交付金充当額	 	6,477		1,316								
ベース)	<u> </u>	次年度繰越額	1	0		0								
		行率(%)(B/A)		100.0%		97.3%			#DIV/	′0!		#DIV/0!		#DIV/0!
	予	算の状況の説明	旅費が当初想定 事業については]の減額	iとなった	έ.					
		H30活動目標	雲(指標)							達成	状況			
						H29年度	Ę		H30年原	芰	Н	31年度		H32年度
				E	目標	(2回)	(3回)	() ()
	国内]・国外でのプロモー	ション活動	9	実 績	3回			3回					
活動目標 (指標) 及び達成状況				+	目標	(10万部	3)	(1万部	3)	() ()
及ひ達成状況	パン	フレットの作成		j	実 績	10万部			1万部					
	達成 状 ・国内外でのプロモーションについて予定どおり3回行った。 ・パンフレットについては、予定どおり1万部作成した。									[7] J.W. 144				
		H30成果目標	票(指標)			基準値 (H27年度)		H29年原	度	H30	年度	H31年	度	目標値 年度)
	リゾ-	ートウェディング数()	2.546組)	F	目標 (2,433組) (2,460組	l) ((2,5	46組)	()	()
					美 績	/		2,567糸	1	2,1	99組			
成果目標 (指標) 及び進捗状況					目標 () () (()	()	()
				身	美 績	/								
	進捗状況説明	・リゾートウェデ	ィング数については	た、沖縄	県が行った	た調査資料に。	よる。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(リゾートウェディング数) リゾートウェディング協会との情報交換などを通して、挙式や申請を行わず 撮影のみを行うケースが増加している。また、本島内他市町村において新規 チャペル開業にともない分散化したことで本村でのリゾートウェディングの件数 が減少していると考えられる。	(リゾートウェディング数) リゾートウェディング協会と連携を密にし、分散化した件数の傾向を確認し対応策を模索する。

(リゾートウェディング数)

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 交付対象 事業費 交付対象 外経費 市町村 負担金 総事業費 交付金 充当額 1,646 1,646 1,316 330 0 有限会社 旅費 512千円 国内・国外プロモーション 沖縄スカイ観光サー ービス 512千円 株式会社 ダイヤモンド・ビッグ社 1,080千円 需要費 1,080千円 読谷村 1,646千円 一般社団法人 沖縄リゾートウェディング協会 54千円 使用料 54千円 会場使用料

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金金の	0	支出先の選定方法は妥当か。	
の流 点れ 検	0		〇予算規模については事業目標を概ね達成しており適正で あったと考える。
評費	_		〇費目、使途については額の確定時において検査を実施して おり、適正なものであったと判断した。
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村	t										
	平	成304	F度沖縄	振興特別	推進交	付金事業(市町村	分)検	正シー	- - [公表用】		
事業番号 - 事業名	1-	-6		川回る	広場整備	事業			21世紀		第	3章-3-(2)-エ
* ***					***	<u>. </u>		基本	計画該	当箇所	観光客の	受入体制	の整備
担当部課名	教育委	委員会生涯学	習課		事業実施 (予定)年		和2年度	沖縄	振興基 該当箇			Ⅲ −1−(.1)
事業内容		ボール競技の 当年度		キャンプの誘 & 年度(令和		め、川回る広場を	を整備する。	,					
実施方法		直接実施	■ 1: ■委i		3 年度) 補助		口その他	h ()				
天旭刀瓜		直接天心		H30年度		H31年度		年度	/	H33年	度	H	34年度
		<mark>(a) 当初予算</mark>	額	19,8									
	昇 -	(b) 予算現額		19,	120								
	のサ	(c) 増減額(b	<mark>−a)</mark>	A	738	0			0		0		0
予算額 · 執行額	況	(d) 繰越額 A. 計(b+	1)		100	0			0		0		0
【単位:千円】	R	A. aT(D+ B. 執行済額		19,		U			U		U		U
(「交付金」+ 「市町村負担」	,	ち交付金充		15,0									
ベース)	ž	次年度繰越額	į		0								
	執行率(%)(B/A)		/A)	98	98.1% #DIV/0!		#DIV	/0!	(0! #DIV/0!			#DIV/0!	
	予算	草の状況の訪	入札実	績に伴う委託	費の執行死	美となる。							
	H30活動目標(指標)			,					達成	犬況			
		ПООД	切口馀(旧馀)	,		H30年度	Į.	H31年	度	НЗ	32年度		H33年度
					目標	(実施) ()	() ()
	ソフトフ	ソフトボール場の実施設計の実施			 実 績	実施							
					大小								
活動目標(指標)					目標	() ()	(:) ()
				_) ()	() ()
(指標)	達成状況説明	(仮称)川た。	回る広場の	実施設計を	目標実績	設の規模決定を		と計等の					整備が整っ
(指標)	成状況説	た。	回る広場の 果目標(指標		目標実績	(及び詳細診	と計等の 年度	成果がな			て条件	
(指標)	成状況説明	た。 H30成:			目標実績	設の規模決定を基準値	及び詳細語 H30	<mark>年度</mark>	成果がな	あり、本コ	こ事に向け	て条件	整備が整っ
(指標)	成状況説明	た。			目標実績実施し、施	というでは、 ・ できます。 という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	及び詳細語 H30 (完	<mark>年度</mark>	成果が <i>も</i>	あり、本コ	こ事に向け	て条件	整備が整っ
(指標) 及び達成状況 成果目標 (指標)	成状況説明 実施記	た。 H30成 设計の完了 或果目標】)	目標実績 実施し、施	というでは、 ・ できます。 という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	及び詳細部 H30 (完	年度 了) : 了	成果が <i>も</i>	あり、本コ	こ事に向け	て条件	整備が整っ
(指標) 及び達成状況	成状況説明 実施 ・ソフト	た。 H30成 设計の完了	<mark>果目標(指標</mark>	ý:5件	目標実施し、施 標 績	設の規模決定を基準値(年度)	及び詳細部 H30 (完	年度 了) ⋮了	成果がa R1	5り、本コ 年度)	に事に向け R2年 (, 5件	で条件: (支 () ()	整備が整っ

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今年度の取組で(仮称)川回る広場整備に向けた実施設計等の報告書を完成することができた。当初、令和元年度工事完了、令和2年度供用開始を予定していたが、工事費及び工期設定を再検討する必要が生じた。	完成した実施設計書を基に、無理のない予算配分や工期の設定を検討していく。
	△ 後 ○ 四 日 4	7. *

予算の平準化および、適正な工期の設定を踏まえ、(仮称)川回る広場整備を令和元年・2年度事業として行う予定である。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
18,767	18,767	15,012	3,755	



平成30年度(仮称)川回る広場 実施設計委託業務

資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
便金の流の流	0		〇事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	〇予算規模は適正な規模であると考える 〇予目・使途については事業目的達成の観点から必要なも
評費	_		のなのか等について額の確定時において支出等に関する
. 1	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	音 類により確認、適正であった。

市町村名		Ī	売谷村											
	ম	<mark>F成 3</mark>	0年度	沖縄振興	特別技	<mark>推進交</mark> 任	寸金事業(ī	市町村	寸分)検	証シー	- - 	公表用】		
事業番号	1	1-⑦		読谷村階	上競技	場北側植	战整備事業		沖縄	21世紀	ビジョン	第3	3章-3-(2)	- エ
・事業名	_	*								計画該		観光客の受	そろ体制の)整備
担当部課名	教育	委員会 <i>5</i>	上涯学習 謂	<u></u>		事業実施 (予定)年度	平成30年度		沖縄	振興基 該当箇			Ⅲ -1-(1)
事業内容		一ツキャ		女のため、北風文			∊上競技場北側Ⅰ	こ植栽を	を整備する					
実施方法	-	」当年度		■後年度(■委託	(R2年月 口補			ロ <i>よ</i> (1	D他 ()				
美胞刀 丛	<u> </u>	」但按头		■安託 H30年原			1年度		70他(R2年度)	R3年J		R44	年度
		(a) 当初]予算額	1100 1.	3,37		17-12		<u>'</u>		1.0 1.	×		T/X
	予算	(b) 予算	現額		3,51	0								
	が、状		t額(b-a)		14	0	0			0		0		0
予算額・	況	(d) 繰越		_										
執行額 【単位:千円】		<u> </u>	† (b+d)		3,51		0			0		0		0
(「交付金」+ 「市町村負担」	,	B. 執行	済額 金充当額		3,51 2.80									
「中町村貝担」		次年度総				2,808								
	執行率(%)(B/A)		—		100.0			#DIV	#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!	
	→ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			:n.=1 ∧ ∓	0.6.6									
	予	算の状況	兄の説明	予正 週り表他。	没計の多	記表物を:	発圧し、争果をき	美 他した	0					
										達成	伏況			
		H30活動目標(指標)					 H30年度		R1年	申	D	0左座	R	 3年度
							1100-12			又	Γ.	2年度		
	~			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		目標	(実施))		2年度)
			競技場北側 設計を実施	の植栽を整備す	する		(実施)
活動目標					する	目標実績)
					する		(実施		()			()
活動目標(指標)					する	実 績	(実施実施)	()	()	(
活動目標(指標)		の実施説	付陸上競	技場北側植栽		実績	(実施実施)	まの作	(()) _t=.	()	()
活動目標(指標)	たとは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	の実施説	设計を実施	技場北側植栽		実績	実施	まの作	()) _t=.	()	(
活動目標(指標)	た 達成状況説明	の実施記録	村陸上競	技場北側植栽	龙整備計	実績	(実施 実施 (がな実施設計	書の作	((に成が完了し 130年度)) _t=.	()	()
活動目標(指標)	た 達成状況説明	の実施記 読 み 村 陸 上 競	村陸上競	表表 (指標) 関対策として植栽	龙整備計	実績 目標 実績	(実施 実施 (実施 (本度)	書の作	((に成が完了し 130年度)) .t	()	()
活動目標 (指標) 及び達成状況 成果目標 (指標)	た 達成状況説明	の 実施 読 ・ 読 ・ た り 、 見 り に り り り り り り り り り り り り り り り り り	を実施 村陸上競 競技場書の 記設計書の	技場北側植栽 票(指標) 別対策として植栽 作成完了	注整備計	実績目標実績	(実施 実施 (実施 (本度)	書の作	((に成が完了し に は (は (は (は (は (に に (に (に (に ()) .t	() R2年度	()
活動目標 (指標) 及び達成状況 成果目標	た 達成状況説明	の 実施 読 ・ 読 ・ た り 、 見 り に り り り り り り り り り り り り り り り り り	を実施 村陸上競 競技場書の 記設計書の	表表 (指標) 関対策として植栽	注整備計	実績実績実績の具体	(実施 実施 (書の作	((((((((((((((((((()) .t	((年度	R2年度	((() () () () () () () () ()	目標値(年度)

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証		交付金額の配分について他事業との調整を行い、早期に整備が行えるよう 検討が必要である。
	A44 A Pr. 1 40	7.

整備費の調整を行い、実施時期の検討を行ない、整備の実施に向けて取り組んでいく。

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,510	3,510	2,808	702	



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金金の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	〇事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であっ たと考える。
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	んこである。 ○予算規模は適正な規模であると考える ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも
評費	_		のなのか等について額の確定時において支出等に関する ***
Im 14	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	書 類により確認、適正であった。

市町村名		読谷村											
	平	成30年	度沖縄	振興特別	推進交	付金事業(市町村	村分)検	証シー	- - [公表用		
事業番号 • 事業名	1-	-(8)	スポーツコ	ンベンション語	秀致促進事	業(設備等強化	事業)		21世紀				3-(2)-ア
- 平木口					古坐中长	_		基本	計画該	当箇所	国際的な 立	中縄観	見光ブランドの確
担当部課名	教育	委員会生涯学習	課		事業実施(予定)年		0年度	沖線	振興基 該当箇			Ⅲ −1	I-(1)
事業内容	スポー	ーツキャンプの言	秀致のため、	, スポーツ設(備の整備を	行う(トレーニ)	ング機器の	の購入)					
効果発現年度	-	l当年度	-	6年度(年度)								
実施方法		直接実施 	□委託		補助	口負担	ロその)		I		o a stage palar
		 (a) 当初予算額		H26年度 12,6		H27年度	Н	<mark>28年度</mark> 20,2	280	H29年	度		H30年度 40,506
	予	(b) 予算現額	•		218			21,0					40,506
		(c) 增減額(b-a)	▲ 3,4	162	0			759		0		0
予算額・	状況	(d) 繰越額		_				-					-
執行額 【単位:千円】		A. 計(b+d)		9,2	218	0		21,0	039		0		40,506
(「交付金」+	,	B. 執行済額	<mark></mark>	9,2	218			21,0	039				40,408
「市町村負担」 ペース)		ち交付金充当額	Į .	7,3	374			16,8					32,326
	次年度繰越額 執行率(%)(B/A)		<u> </u>	100	0 00.0% #DIV/0!		100	100.0%		#DIV/0!		99.8%	
	ŦX1.] 年 (90)(D/ A	,	100	.070	#DIV/0:		100	.0%		#DIV/ 0:		39.0/0
	予算	算の状況の説明	事業計画	画どおりに執	行を行なっ	た(不用額につい	ハては入村	礼残である)					
									' *	Шен			
	H30活動目標(指標)								達成	仄 沉			
		H30活勁	目標(指標)				_		_			\top	
		H30活動	目標(指標)			H30年.	复	H31年	度	НЗ	32年度		H33年度
	hlv-				目標	H30年原 (実施		H31年 (度)) (H33年度)
		H30活動 -ニング機器購 <i>入</i> -ラック ダンベ	人の実施	B		(実施		<u> </u>) (
		-ニング機器購入	人の実施	目	目標実績			<u> </u>) (
活動目標(指標)		-ニング機器購入	人の実施	B -		(実施		()) ()
活動目標		-ニング機器購入	人の実施	■	実績目標	(実施実施)	()	()
活動目標(指標)	パワー	-ニング機器購入	人の実施	目	実 績	(実施実施)	()	()
活動目標(指標)		-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレ- 利用団体(-	人の実施 ル 他37品 ーニング機 チーム): 中	器の整備を	実 目標 実 積	(実施実施))))) () () () () () () () () () () ()	(((。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	で頂いて	() ()
活動目標(指標)	パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレ- 利用団体(- カメラソフト:	人の実施 ル 他37品 ーニング機 チーム): 中	器の整備を	実 目標 実 積	(実施 実施 () からのスポーツ -15人制日本什	ノキャンブ式表・サガ	(((。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	つて頂いて琉球・野球部	() (フトボ)
活動目標(指標)	パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレ- 利用団体(- カメラソフト:	への実施 ル 他37品 ーニング機 チーム): 中 ボール部・!	器の整備を	実 目標 実 積	(実施実施のスポーツのスポーツのよう人制学野球基準値	ノキャンブガえま・初芝	(((が) に活西・下 が に が に が で に が で に を で を で で が で が で で が で が で が で を う で を う に を う で を う を う を う を う を う を う を う を う を	つて頂いて琉球・野球部	((がた。 INAC神	戸・日立ソ) (フトボ) :ール部・ビッグ 目標値
活動目標(指標)	パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレ- 利用団体(- カメラソフト:	しの実施 ル 他37品 ーニング 機中 チール 部・! 目標(指標)	器の整備を ・日ドラゴンス 愛知産業大	実 損 実 積 行い、1月i デ・ラグ球部・	(実施実施のスポーツのスポーツのよう人制学野球基準値	ノキャンブガえま・初芝	(() () () () () () () () () () (C で で で で で で で で な ・ で い で お ・ に の に に に に に に に に に に に に に	((がた。 INAC神	戸・日立ソ	フトボ) :ール部・ビッグ 目標値
活動目標(指標)	パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレー 利用団体(- カメラソフト:	しの実施 ル 他37品 ーニング 機中 チール 部・! 目標(指標)	器の整備を ・日ドラゴンス 愛知産業大	実 損 実 積 行い、1月i デ・ラグ球部・	(実施実施のスポーツのスポーツのよう人制学野球基準値)) /キャンプ 式表・サガ 注部・初芝	(() () () () () () () () () () (C で で で で で で で で な ・ で い で お ・ に の に に に に に に に に に に に に に	((がた。 INAC神	戸・日立ソ	フトボ) :ール部・ビッグ 目標値
活動目標 (指標) 及び達成状況 成果目標	パ 達成状況説明 ポー	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレー 利用団体(デ カメラソフト) H30成果 ーツキャンプ誘致	しの実施 ル 他37品 ーニング 機中 チール 部・! 目標(指標)	器の整備を ・日ドラゴンス 愛知産業大	実 積 標 実 行いラヴ球部・ 目 標	(実施 実施 () 実施 の スポーツ () の スポーツ () の スポーツ () ま準値 (年度) ())) /キャンプ 式表・サガ 注部・初芝	(((がに活用 に極・Fで で で で で で で で で で で で で で で で で で で) (C で で で で で で で で な ・ で い で お ・ に の に に に に に に に に に に に に に	((がた。 INAC神	戸・日立ソ	フトボ) :ール部・ビッグ 目標値
活動目標 (指標) 及び達成状況	パ 達成状況説明 ポー	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレー 利用団体(- カメラソフト:	しの実施 ル 他37品 ーニング 機中 チール 部・! 目標(指標)	器の整備を ・日ドラゴンス 愛知産業大	実 目 実 行ぐ学 標 績	(実施 実施 () 実施 の スポーツ () の スポーツ () の スポーツ () ま準値 (年度) ()))) /キャンブガ芝 H) ((((が) (が) ((((((((((((() (C で で で で で で で で な ・ で い で お ・ に の に に に に に に に に に に に に に	((INAC神 年度	戸・日立ソ) フトホ 度)) :ール部・ビッグ 目標値
活動目標 (指標) 及び達成状況 成果目標 (現場)	パ 達成状況説明 ポー	-ニング機器購 ーラック ダンベ 12月にトレー 利用団体(デ カメラソフト) H30成果 ーツキャンプ誘致	しの実施 ル 他37品 ーニング 機中 チール 部・! 目標(指標)	器の整備を ・日ドラゴンス 愛知産業大	実 目 実 行ぐ学 目 実 目 実 目 実 様 標 績 標 績 標	(実施 実施 () 実施 の スポーツ () の スポーツ () の スポーツ () ま準値 (年度) ()))) /キャンブガ芝 H) ((((が) (が) ((((((((((((() (C で で で で で で で で な ・ で い で お ・ に の に に に に に に に に に に に に に	((INAC神 年度	戸・日立ソ) フトホ 度)) :ール部・ビッグ 目標値

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本事業を実施することで利用者のニーズ(要望)のあった設備(トレーニング機器)を整備することで、対応力が増加した。スポーツキャンプを誘致する際に目玉となる設備を整備することが出来た。今後は整備を行った設備の維持管理が課題となる。	日常のメンテナンス(ふき取りやグリース)や定期的なメンテナンス(ローラー等の確認など)を行うことで、購入を行った機器を長く利用でき、更には利用者が安全に活用できると考える。

スポーツキャンプの誘致を行なう際に、新たなトレーニング室の整備を行なったことをセールスポイントとして、誘致を行いキャンプ数の増加等へ繋げる。 次年度よりは、トレーニング室管理人の配置を行い、日常メンテナンスを実施する。定期メンテナンスについては購入を行った業者よりアドバイス等を頂き検討を 行う予定

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
40,408	40,408	32,326	8,082	



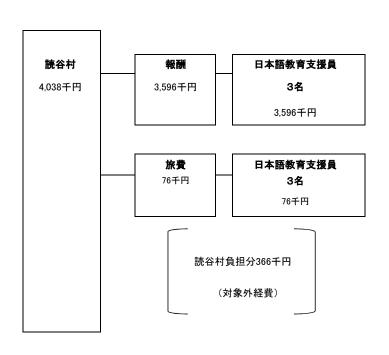
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	〇事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であっ				
点れ検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予来省は、指右城が入れにより送足しており安当であり たと考える。 ○予算規模は適正な規模であると考える				
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	要なものであったと判断した。				

市町村名		-	読谷村													
	平	<mark>-成3</mark>	O 年度	E沖縄振興特	別推	進交付	t金事業(市田	J村分	·) 検	<mark>証シ</mark> ー	- - [公表用]		
事業番号	2	2-①		日本語	教育す	支援員配置	事業				21世紀		第	 3章-5	5-(2)-ア	,
・事業名	<u> </u>		<u> </u>								計画該		教育機会	の拡充	£	
担当部課名	教育	委員会	教育総務	務課・学校指導課	(-	事業実施 予定)年度	平成24~33	3年度		沖網	表典基: 該当箇			Ⅲ -3	3-(1)	
事業内容										に通訳や内容説明、他児童と 調整の場(家庭訪問・三者面語 他 ()						
効果発現年度		■当年度	隻	□後年度(年	[度]					_					
実施方法		■直接実			口補助		□負担		その他	-)					
				26年度			7年度		28年月			29年月			30年度	
			初予算額	<u> </u>	4,314		4,065			•	561		4,582			4,139
	算	(b) 予算		<u></u>	4,314	1	4,065			-	961		4,382			3,905
	の状		咸額(b-a)		0	<u> </u>	0			▲ 6	600		▲ 200			▲ 234
予算額·	況	(d) 繰起		-		<u> </u>	-									
執行額 【単位:千円】		A. 7	計(b+d)		4,314	<u> </u>	4,065			3,9	961		4,382			3,905
(「交付金」+		B. 執行	亍済額		3,768		3,760			3,4	498		4,325			3,672
「市町村負担」		うち交付	^{十金充} 当額	<u></u>	3,014	İ	3,008			2,	798		3,170			2,936
	ž	次年度網	繰越額	<u> </u>	0	Ī	0				0		0			0
	執行	<mark>]率(%</mark>	%) (B/A)		87.3%		92.5%			88	3.3%		98.7%			94.0%
	予算	算の状況	況の説明	当初予定と異なる	,人員面	記置となった	たため、予算》	載額 。								
		H	H30活動目標	標(指標)		Г					達成	伏況				
							27年度			28年月	度	2	9年度		30年度	支
	村立	小学校	配置		ê E	目標	(3名) (3名	,	(3名) (3名	3)
			(配置 村立5小	量)	ij	実 績	3名			3名	i		3名		3名	
活動目標(指標)					F	目標	() ()	() ()
及び達成状況					Jan.	実 績										
	達				—											
	達成状況説明	村内	引小学校5秒	校中3校に各1名	、日本	₹語教育 才		し、対	才象児童	≦に対し	ン、小学 [:]	校生活に	-順応でき 	るよう		
		Н	H30成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		30年	度	31:	年度	32年	度	目標(年	票値 F度)
				通ができ、学校生		目標 () (80%以	.上)	()	()	()
	活等~	への困難	難が改善さ	れた割合80%以上	3	実 績			1009	%						/
成果目標 (指標)	【参考	斉指標 】	_	_	E	目標() ()	()	()	()
及び進捗状況					I	実 績										/
	進捗状況説明	目標	引を通した支票を達成でき	を接員の配置により きた。	、要支	援児童に	寄り添った支持	一 爰体制	を構築・	・維持す	「ることが	できたこ	とで、柔軟で	なサポ	ートが実	現し、

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
10-4	児童の生活支援や学習支援、その保護者対応など、要支援児童に寄り添った支援を行ったことで、学校生活等への困難の改善に繋がった。 学校により、要支援児童数に隔たりが生じている。	柔軟な勤務体制の構築を図る必要がある。 具体的には、現在の短時間勤務(14:15終業)をフルタイムに変更する(学校と保護者との連絡調整の時間の確保)や、勤労地を固定しない方法(必要度に応じて全小学校をフリーで周る)などを想定している。また、新たな通訳ツールとして、多言語翻訳装置等(※テレビ電話で教諭と通訳者と保護者が会話する機能)の導入を検討する。
	会終の取り組	2. 士会

学校現場との協議のうえ、より柔軟な支援体制の実現を目指し、今後も継続的に支援員を配置し、対象児童の学校生活や学習上の困難の改善を図る。





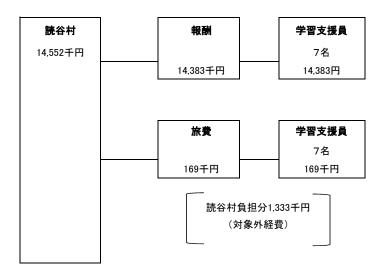
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金金の	0	支出先の選定方法は妥当か。					
の流点れ、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、ま 出先の選定については妥当である。 ・○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模				
検算価	-		- ○統任や構造・職員の仕用等に関する規則、安神によりと昇及作を決定しており、適正な規模であった。 - ○ 費目・使途は、支出等に関する書類により確認。適正であった				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名			読谷村												
	2	区成 3	0 年度	沖縄振興特	別推	進交付	金事業 (市町村	寸分) 検	証シ-	- - [·	公表用】			
事業番号	2	2-(2)		小中学	校学習支	を接員配置	置事業		沖細	21世紀	ピジョン	第3	章-5	-(3)-ア	
- 事業名	_	- •			123 12	(基本	計画該	当箇所		を身に	 こつける教	教育の
担当部課名	教育	委員会	教育総務	課・学校指導課		業実施 定)年度	平成26~33	年度 	沖幕	振興基 該当箇			Ⅲ -3-	-(1)	
事業内容	るため、技未内谷をさ		内容をきめ	細やかにサポー	トする学	習支援員		ぶ意欲	 を高め、基 ²	▶的な学	習内容を	理解し、確か	な学	力の定着	を図
効果発現年度	_	■当年度	Ę	□後年度(年	度)									
実施方法	ı	■直接実	施		口補助		□負担)					
	_	(-) N/ 1 7		26年度	15 400	27	年度 14,000	2	28年度	1.40	29年月			30年度	15 150
	予	(a) 当初 (b) 予算	D予算額 IT理額		15,482 15,482		14,686		16,			16,502 16,154			15,150 14,688
	算の		t額(b-a)		0		0		10,			16,154 ▲ 348			▲ 462
予算額・	状況	(d) 繰越		_			-			100	_	2 040		_	402
執行額	IJL		i† (b+d)		15,482		14,686		16,	043		16,154			14,688
【単位:千円】		B. 執行	済額		14,074		14,089		14,	220		16,097			14,552
(「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		うち交付	金充当額		11,237		11,271		11,	376		11,804			11,641
-\-_\		次年度網	操越額		0		0			0		0			0
	執行	亏率(%	6) (B/A)		90.9%		95.9%		88	3.6%		99.6%			99.1%
	予	質の状況	兄の説明	当初予定と異なる	5人員配	置となった	たため. 予算派	滷							
	Ĺ	3F - 5 B(1)	, o c o p	- 13 1 ACC3 CO	J7 132 HD	EC 0-27	27207 7 9740	VIII							
	H30活動目標(指標)								達成	状況					
		Н	30活動日旬	宗(拍 <i>慄)</i>			27年度		28年	度	2:	9年度		30年度	
			W 777 - L 157	O	目	標	(5名)	(5名	i)	(5名)	(5名)
		/]	学習支援 、学校{5校			6 ±	- A		- A			- A			
年製口標					天	績	5名		52	5名		5名 		5名	
活動目標 (指標) 及び達成状況			学習支援	ᆿᆔ품	目	標	(2名)	(2名	;)	(2名)	(2名)
及び是無机ル			字校 {2校		実	績	2名		2名			 2名		2名	
						130				'		211 211			
	達成 状況 説説明			ずつ学習	冒支援員	の配置を行う	ことがっ	できた。							
		Н	30成果目標	票(指標)			基準値 (年度)	;	30年度	31	年度	32年度		目標 (年)	
		県学力到 正答率の		における県と村の		標 ()	(1.7	7ポイント 以上)	()	()	()
		一			実	績		-0.	7ポイント					/	/
成果目標(指標)					目	標 ()	(-2	2.5ポイン ト以上)	()	()	()
及び進捗状況	2中	学校1年	生数学		実	績		6.	.9ポイント						
	進捗状況説明	小学を下!	校において 回っていた	「は、29年度まで県 が、その差は徐々	 平均を ₋ パに改善。	上回ってし され、30年	いたが、30年度 三度は県平均を	■ ほは県平 上回る	均を下回る結果となった	結果であ	らった。中草	学校において	こは、	これまでタ	 県平均

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	しかし、学校によっては、学力到達度調査において、県平均を大きく上回る 学校もあることから、特別支援教育支援員を配置する方が優先度(必要性)	特別支援教育支援員配置事業で配置を行っている、特別支援教育支援員のニーズが高い学校が存在することから、学習支援員と特別支援教育支援員のどちらを優先して配置するかを選択できるような仕組みを検討し、柔軟な対応を行うことで、各学校の現状に応じた対応が可能となり、効果を高めることができる。

学力においては、学校間格差が存在しているため、学力が定着している学校は、学習支援員より特別支援教育支援員の方が優先度が高い場合がある。それぞれの学校の実情に応じて、学習支援員と特別支援教育支援員のどちら優先して配置するかを選択できるような仕組みを検討する。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
15,885	14,552	11,641	2,911	1,333



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	 ○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用して				
の流点れ、	0		り、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算 規模を決定しており、適正な規模であった。 ○費目・使途は、支出等に関する書類により確認。適正で				
検評費価目	-						
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	あった。				

市町村名		読谷村									
	平成3	0 年度	沖縄振興特別	引推進交	付金事業(市町村	分)検証	シート【	公表用】		
事業番号 ・事業名	2-3		特別支援	教育支援員	配置事業			世紀ビジョン		至-5-(3)-イ	
于木口							基本計	画該当箇所	豊かな心とた 教育の推進	くましい体を育む	
担当部課名	教育委員会	教育総務	語・学校指導課	事業実施 (予定)年		年度		興基本方針 当箇所			
事業内容	アスペルガ-	−症候群等	E籍し、心身に障害を) のため、個別支援の の拡充と質の向上を	の必要な幼児							
効果発現年度	■当年月	隻	□後年度(年度)							
実施方法	■直接到	実施	□委託 □	補助	□負担	□その	他()				
			26年度		27年度	28	8年度	29年	度	30年度	
	-	切予算額		5,375	45,922		43,773		46,825	41,161	
	算		45	5,375	45,922		43,773		45,225	39,864	
	状 /小架+	或額(b−a)		0	0		0		▲ 1,600	▲ 1,297	
予算額 · 執行額	況 (d) 繰起	逃額 計 (b+d)	-	5,375	45,922		43,773	_	45,225	39,864	
【単位:千円】	B. 執行	,		9.377	44,914		43,773		44.475	39,864	
(「交付金」+ 「市町村負担」	,	金充当額		1,501	33,309		33,749		33,003	31,487	
ベース)		次年度繰越額		0	33,309		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0		0 (1,10)	
	執行率(9	%) (B/A) 8		36.8%	97.8%		96.4%		98.3%	98.7%	
	予算の状況	況の説明	当初予定と異なる。	人員配置とな	つたうえ、退職に	伴う未配け		_			
	H30活動目		票(指標)					達成状況			
					27年度		28年度	2	29年度	30年度	
	特別支援教育支援員配置			目標	(5名) ((5名) (5名)	(5名)	
		幼稚園(5園):5名		実 績	5名		5名		5名	5名	
	杜子只	古怪教会	支援員配置	目標	(10名) ((10名) (10名)	(10名)	
		小学校(5村		実績	10名		10名		10名	10名	
活動目標 (指標)	特別	特別支援教育支援員配置		目標	(4名) ((4名) (4名)	(4名)	
及び達成状況	1473	中学校(24		実 績	4名		4名		4名	4名	
	特別	川支援教育	専門指導員	目標	(1名) ((2名) (2名)	(1名)	
		1名		実 績	1名		2名		2名	1名	
	達成状況説明	哉に伴う人。	員配置が未達成な	事例も生じ	てしまったが、ホ	既ね計画:	通りに支援員	を配置する	ことができた。		
	ŀ	H30成果目	票(指標)		基準値 年度)	30	0年度	31年度	32年度	目標値 (年度)	
			保護者にアンケート 育支援員の対応へ	目標	((809	%以上) ()	() ()	
成果目標 (指標)		か(80%以上)を含め、当該事業	実 績			84%				
及び進捗状況	進捗状況説明	1目標を概れ	a達成したことで、要	支援幼児・児	記童生徒への支持	受体制が精	構築でき、個に	応じた支援を	行うことができ;	<i>t</i> =0	

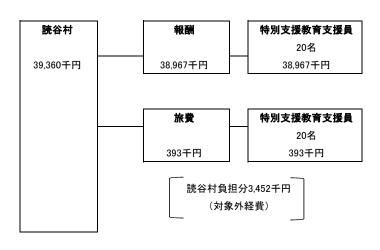
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 支援員を配置することで、対象幼児、児童生徒の個々のケースに対応することができた。 しかし、幼稚園現場においては、支援員1人に対し、平均7~8名の支援対象 幼児がいることから、すべてに支援が行き届いていない。保育所で障害児保育 育による加配制度を受けていた子が、幼稚園では受けられておらず、支援が 級総続できていないという現状があるため、それに対応する仕組みが必要である。

今後の取り組み方針

幼稚園において、全園の副園長と協議のうえ、支援員の勤務時間の延長について検討する。また、各園の実情に応じて、新たに特別支援ヘルパーの配置を検 討する。 小中学校においては今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。

資金の流れ

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
42,812	39,360	31,487	7,873	3,452



資金の流の流	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
	途の	0		〇読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用してお			
	の 点 枚 検	0	予員担租 工事業因炎に日全った。南止だ担相とだって」 (人が)	「り、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予			
	評費	-		規模を決定しており、適正な規模であった。 〇費目・使途は、支出等に関する書類により確認。適正で			
	. 1	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	あった。			

市町村名		Ī	読谷村																
	平月	或 3	O年度	沖縄振	興特別	推進	交付	金事	業 (市	丁町	村分) 村	検	正シ -	- ト 【	公	表用】			
事業番号	2-	4)			小学校IC	工環境	2.	業			ji	卢縄	21世紀	ビジョン		第3	章-5	5-(4)-T	7
事業名			<u> </u>		-			<u> </u>					計画該		国际教育	祭社会、 育の推進	情報	社会に対	対応した
担当部課名	教育委	員会	教育総務	課		事業等		平	成25~3	30年度	ŧ ;	沖縄	振興基 該当箇	本方針 所				-(1)	
				交教育の質 <i>の</i>			小学村	交に電子	∸黒板を	·整備·	する。								
効果発現年度		当年度		□後年		年度)													
実施方法		接美	€施 ————	□委託	□ネ	助		負担			の他 ()	22/	#			0.4左曲	
	(a	a) 当初	刀予算額	30	<mark>年度</mark> 3,6	00	314	丰度			32年度			33年	· <mark>度</mark>			34年度	_
	予ル		算現額 「現額		2,9														
	算 の (d) 増減	或額(b−a)		A 6	25													
予算額・	状況(の) 繰越	越額	-	_														
執行額 【単位:千円】		A. 言	† (b+d)		2,9	75													
(「交付金」+	B.	執行	済額		2,6	79													
「市町村負担」 ペース)			金充当額		2,1														
			操越額 6) (B/A)		90.	1%													
	ŦX1 J =	+ (%	1) (D/ K)		90.	1 /0													
	予算	の状況	兄の説明	当初の計画 減額は入札				できた。											
		п	130年新日	運(指揮)									達成	状況					
	H30活動目標(指標)						30	年度		31	年月	变		32年』	变		33年	度	
	雪 乙 甲 振 敕 冼 达 粉 . 1 小 学 达				5	目標	(小学	单校1校)	()	()	()
	電子黒板整備校数:1小学校 (4教室)					実 績	績 小学校1校												
活動目標(指標)						目標	()	()	()	()
及び達成状況																			
						実 績													
	達成状況説明	クラス	ス増により	J不足してい	た4教室	に電子	黒板を			環境	の充実を	艺図	ることだ	ができた	0				
		Н	130成果目標	漂(指標)				基準 (年)			30年度		31	年度		32年度		目 (4	標値 手度)
	た授業	が分れ	かりやすか	、電子黒板を いったか(80%)	以上)を	目標	()	(80%)	()	()	()
	含め、	電子黒	晨板の活用 証	のあり方につ	ついて検	実 績		/	/		97%								
成果目標(指標)						目標	()	()	()	()	()
及び進捗状況						実 績		/											
	進捗状況説明	児童た。	へのアンケ	rートで、電子		用した技	受業が	分かりも	らすかっ	たとの	D回答が	97%	6を達成	し、目標	თ 809	%を大き	〈上回	回る結果	となっ

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	クラス増により不足していた電子黒板を整備できたことで、ICT環境の充実を 図ることができた。 教師間では、電子黒板の活用度にバラツキが見られる。	情報担当の教師による公開授業を開催したり、お互いのクラスでの活用事例を研究することで、電子黒板の使える機能を理解し、授業での活用度を上げていく。

ICT機器の活用により、生徒の興味・関心を高め学習意欲の向上を図り、学習環境を充実させていく。 あわせて、公開授業・教材研究などにより、教師の電子黒板活用度も上げていく。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,679	2,679	2,142	537	0



小学校ICT環境整備事業にかかる購入

資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
便金の流の流	0		〇事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと 考える。				
点れ検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	ったる。 〇予算規模については、見積書等で必要最小限に抑えた適 一正な規模である。				
評費	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な				
	0		-ものであるか等、支出等に関する書類により確認、適正であった。				

市町村名		読谷村										
	平成	3 0 年度	<mark>萨沖縄振興特別</mark>	l 推進交	付金事	業(市町	付分)検	証シー	- - [公表用】		
事業番号	2-⑤		小学校ICTパ	ソコン教室機	能強化事業	Ė	沖縄	21世紀	ビジョン	第3	章-5-(4)-	ア
・事業名						<u> </u>		計画該		国際社会、 教育の推進	情報社会に	対応した
担当部課名	教育委員	会 教育総務	§課	事業実施(予定)年		戈26~31年 度	沖和	現典基: 該当箇			Ⅲ -3-(1)	
事業内容			操作技術の向上を図る		校に学校教	育用パソコン	を整備する	0				
効果発現年度	1100											
実施方法	■直接	妾実施 ————————————————————————————————————		補助	□負担		の他 ()	oo左		0.4 <i>/</i> T i	
	(a) ÷	当初予算額	30年度 64	.433	31年度		32年度		33年月		34年月	
	予 (b) 3	予算現額		,910								
	算 の (c) t	<mark>増減額(b−a)</mark>	▲ 28,									
予算額・	北 ——	繰越額	_									
執行額 【単位:千円】		計(b+d)	35,	i,910								
(「交付金」+	B. ‡	执行済額	35,	,910								
「市町村負担」		交付金充当額	28.	,728								
		度繰越額	<u> </u>	0								
	執行率	(%) (B/A)	100	0.0%								
	予算の	状況の説明	当初の計画通り予算 減額は入札によるも		付できた。							
		山30洋動日	堙(指揮)					達成物	伏況			
	H30活動目標(指標)				304	年度	31年	度	3	2年度	33年	=度
				目標	(小学	校3校)	()	()	()
	パソ	コン教室整備	校数:3小学校	実績	小学	校3校						
活動目標(指標)				目標	()	()	()	()
及び達成状況							`					
				実 績								
	達成状況説明	†内小学校5 『年度残り2ホ	校中3校にパソコン 交の整備を予定して	·教室を整備 こいる。			子図ることか	できた。				
		H30成果目標	漂(指標)		基準(年度		30年度	314	年度	32年度	目 (標値 年度)
			, ICT機器を活用でき)を含め、ICT機器の	目標	() (80%)	()	() ()
	7_C/E/O/.	活用のあり		実 績			67.9%					/
成果目標 (指標) 及び進捗状況				目標	() ()	()	() ()
及び起抄认派				実 績								
	進捗状況説明	 ■業完了時期 まが67.9%と	引が遅れたことによっ 目標には至らなかっ	 って児童がI った。	CT機器に	触れる時間	が少なかっ	たため、	「ICT機	器を活用で	きたと感じか	こ」の割

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 取 今回は事業完了が年度末となったため、次年度の整備では事業の実施時期 組 「中国は事未元」が年度べどはつたに破り、次年度の登備では事業の実施時期 を早めるよう検討する必要がある。 児童へのアンケートの結果では、「キーボード入力が出来る」「パソコンを 使って調べ学習が出来る」などの回答があり、端末操作技術や情報活用能 力の向上が図られた。活用の機会を増やすことで、導入の効果をさらに高め 教室でのタブレットの活用も増やしていきたい。 の 検 る必要がある。

今後の取り組み方針

早期に事業を実施し、整備による効果が実感できるよう取り組む。 教育用パソコンを整備し、1人1台のコンピューターが使用できる環境を構築することで、情報社会に対応するうえで必要な知識および技能の習得等の情報活用 能力の育成を目指す。具体的には、各教科の調べ学習などでパソコンを使う機会を増やす。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
35,910	35,910	28,728	7,182	0



小学校ICTパソコン教室機能強化事業にかかる購入

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金金の流の流	0	ΛΠ/0-7/2/C/1/Δ/0-7/2 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	〇事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと 考える。
点れ検	i o		の予算規模については、見積書等で必要最小限に抑えた適 正な規模である。
評費価目	-		〇費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ものであるか等、支出等に関する書類により確認、適正で あった。

市町村名	読谷村														
	3	严成 3	0年度	沖縄振	興特別	l推進交	付金事業(市町	村分)検	証シ-	- - [公表用】			
事業番号	3	3-(1)		読谷補助訊	飛行場「大	木地区 廃到	建物処理委託業	務	沖細	21世紀	ドジョン	第3	章-3-	·(13)-(1))
- 事業名				100 H 110-937	1013.93.74	·1	~ MAC-1210A	323		上計画該		駐留軍用地備	也跡地	の計画的	的な整
担当部課名	建設	整備部	都市計画	課		事業実施(予定)年原				電振興基 該当箇		VHI	Ш	-8	
事業内容		読谷補助飛行場跡地(大木地区)において、平成26年度から行っている不発弾探査により、土中から廃棄物が発見された。これにより、読谷補 助飛行場の跡地利用が阻害されているため、廃棄物処理を行う。													
効果発現年度] 当年度	Ę	■後年	度(令和	5年度)									
実施方法]直接実	ミ施	■委託	_;	補助)					
				H30	0年度		R1年度		R2年度		R3年	度		R4年度	
	予]予算額			863									
	算	(b) 予算			39,814		0					0			
	の状	(c) 瑁洞 (d) 繰越	t額(b-a)			49	0			0		0			0
予算額 · 執行額	況		計(b+d)			814	0			0		0			0
【単位:千円】		B. 執行			39,		Ŭ.					-			-
(「交付金」+ 「市町村負担」	,		金充当額		31,										
ペース)		次年度網	操越額			0									
	執行率 (%) (B/A)				100	0.0%	#DIV/0!		#DI\	//0!		#DIV/0!			#DIV/0!
							<u>'</u>								
	予	算の状況	兄の説明	事業計画	iのとおり	実施した。当	初予算額の執行	残であ	る。						
										' ##	Us ser				
	H30活動目標(指標)								<u> </u>	達成	状况 ┏———		_		
						H30年度			R1年	度	R	2年度		R3年原	度
							廃棄物処理	里の)	()	()) ()
			テ場跡地(プ L理の実施	大木地区)に	て発生		実施								
	0,0,)U)())				実 績 廃棄物処理の実施									
活動目標(指標)						目標	()	()	()) ()
及び達成状況															
						実 績									
	達成状況 読谷補助飛行場跡地(大木地					にて発生し		の実施	した。						
		Н	30成果目標	票(指標)			基準値 (年度)	ŀ	H30年度	R1	年度	R2年原	支		票値 年度)
			2.			目標	() (完了)	()	()	()
	廃棄	物処理(6,509㎡) ග	完了	-	実 績			完了						
成果目標	[R16					目標	() ()	(6	65%)	()	(10	00%)
(指標) 及び進捗状況		地区のこ		理事業の進	進捗	実 績		+							
	進					> 196								/	
	连捗状況説明	読谷	補助飛行場	易跡地(大木	₹地区)に	て発生した廃	§棄物処理の実)	施し、同	地区の土地	区画整理	事業の過	進捗が図られ	いた。		

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	平成18年度に返還された当該地区については、平成26年度から行っている不発弾探査の際に廃棄物が出土し、跡地利用を推進する上で阻害要因となっていた。 今回、当該補助事業を活用し一部廃棄物の処理を行ったが、想定していた以上の廃棄物が出土しているため、引き続き処理を行う必要がある。	当該地区の廃棄物処理について引き続き処理を行っていけるよう、組合と 調整を行っていく。

今後、組合と調整を行いながら、当該地区の区画整理事業(地区整備)を進め、跡地利用を推進していく。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
39,814	39,814	31,851	7,963	0

委託料 39,814千円 株式会社アンカー 平成30年度 読谷補助飛行場跡地「大木地区」 読谷村 39,814千円 39,814千円

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金金の流	0		〇受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知
点れ検	0		職等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えられる。
評費価目	_		○予算規模、費目・使途についても適正であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、
Im 11	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	読谷村											
	平成30年度海	中縄振興特別	推進交	を付金	金事業(市	町村	分) 検証	Eシー	- - [公表用】		
事業番号	4 -(1)	ユンタンザフィー	-ルドミコ	レージ	アム構築事業		沖縄 2		ピジョ	第3章−	- 1 —	(4) -ア
- 事業名							基本	ン 計画該	当箇所	沖縄の文化 る環境づく		流を確認でき
担当部課名	教育委員会	文化振興課	事業等		平成24~	30年度		振興基 該当箇	本方針	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	読谷村内の各集落に うにする。	二遺されてきた自然	・歴史・文化	となどの	の情報を、聞き	を取り調査				、マップにま	とめて	活用できるよ
効果発現年度	■当年度	□後年度(年度)									
実施方法	■直接実施	■委託	口補助				の他()				
	(-) 1/ 九 マ 倅 広	26年度	504				8年度	20	29年			
	予 (人) 子質用類 6.5		,504 504	· ·			12,3			15,319 14,690		14,254
	月 の (c) 増減額 (b-a)		0		1 ,255 ▲ 863		1 1,0.			▲ 629		1 3,207
予算額・	状似细粒瘤	_						_	_ 020			
執行額	况 (d) 繰越額 A. 計(b+d)	6	,504		7,255		11,6	59		14,690		13,207
【単位:千円】	B. 執行済額	5	,979		7,255		11,6	59		14,690		13,155
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付金充当額	4	,783		5,804		9,3	27		11,752		10,524
ベース)	次年度繰越額		0	0				0		0		0
	執行率 (%) (B/A)	9	1.9%		100.0%		100.0	0%		100.0%		99.6%
	予算の状況の説明 計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。											
	達成状況											
	H3 O活動目標(指標)				27年度		28年度	Ę	2	9年度		30年度
自然・歴史・文化資源等の調		等の調査(3地区)	目標	! (4 地区) (4地區	₹)	(2	2 地区)	(3地区)
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	実績	i	4 地区		4 地区	ξ	2	2地区		3地区
			目標	(-) (_)	(-)	(3地区)
	文化財ガイドマップ板	設置(3地区)	実績									3地区
活動目標							_		,		_	
(指標) 及び達成状況	文化財ガイドマップタフ区)	ブロイド版製作(3地	目標	() ()	(-)	(3地区)
XU EKWI	<u>(2)</u>		実 績		-		_			-		3地区
	地歴型マップシステム	の観光コースサイ	目標								(実施)
	ト制作及び開設動画制		実 績	i								実施
	成 状 ・3地区のガー	尹良皆地区、牧原 イドマップ板を設置 イドマップタブロイト ップシステムを制イ	した。 [*] 版を作成)	・歴史・ℑ	文化情報等	等の調	<u>*</u> 査を実施	Ē <i>∟†</i> :。		
	H3 O成果目標	漂 (指標)			基準値 (年度)	H30	0年度	Rπ	年度	R2年度	Ę	目標値 (年度)
	文化財ガイドマップ等	を活用した地域散	目標	()	(28	0人)	,)	() ()
	策参加者数 280人		実 績		//	32	27人					
成果目標			目標	()	()	,)	() (()
(指標) 及び進捗状況			実 績									
	券 敷跡などを案F 状 (読谷村役場報 況 議会17人、名詞	易にして開催された。 内した。その他にも、 所職員研修28名、古 蒦市博物館14人、A)会28人、石川少年	学校区内 堅小学校 NA西日本	に所名 校内研 24人、	Eする文化財を F修30人、読谷	周知して	て理解する 学校初任者	目的で 行研修1	、校内研(5人、夏休	修を実施した み親子文化	小学体 財巡り	交もあった。 111人、埼玉県

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取組の検

証

今回整備した3地区とも共通するが、調査対象地区は現在もその多くを 米軍基地として使用されており、牧原地区においてはゴルフ場建設により 立入ることは容易ではないため、地域散策が困難な地域が存在する。い かにして往時の集落を伝え、学んでいくことができるかが大きな課題である。

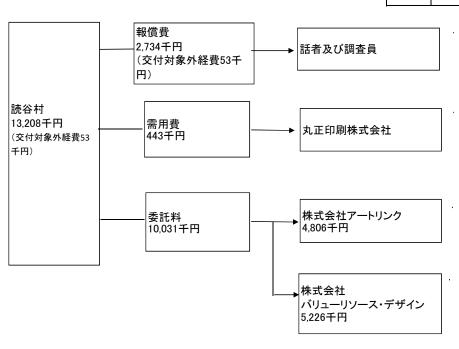
現地に立入ることができない当該地区については、マップ作成に際 して収集した写真資料等を活用し、公民館などで展示会を開催するな ど自治会と連携していく。

今後の取り組み方針

これまで製作した文化財ガイドマップを学校、地域の子ども会、青年会、婦人会、老人会等の各種団体が地域の歴史文化を知る資料として活用し、広くは村外、県外、国外とより多くの方々が参加する地域散策会が持続的に開催できるように人材育成を図り、地域や行政そして観光業者と連携した地域活性化や観光振興につながる企画に取り組む。

資金の流れ

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
13,208	13,155	10,524	2,631	53

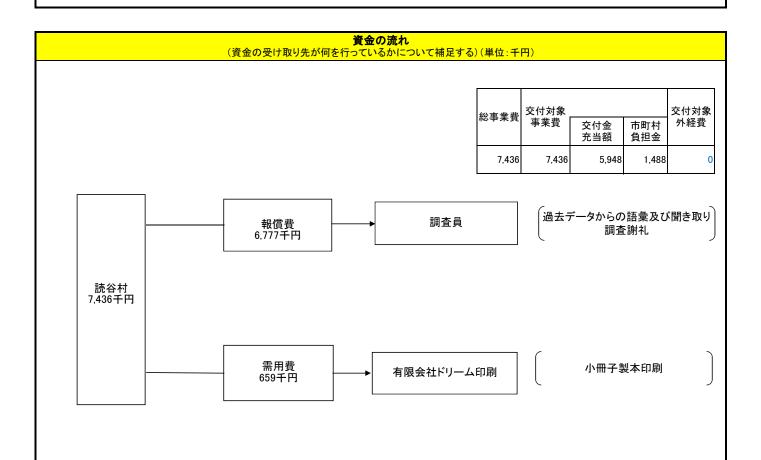


資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
途の流	0		○委託業者は指名競争入札を行い、最低価格提示事業者へ決
点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	定し発注したので妥当と考える。 〇予算規模は委託業務において入札残が生じたが、委託仕様の よおり業務を遂行でき適性規模である。
検費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	この少果物を遂行でき週性放展である。 〇費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものな のか等について、額の確定時において支出等に関する書類によ
価目・	0		り確認し、適正であった。

市町村名	Ī	読谷村													
	平成3	80年度	中縄振興特別	推進交付	付金事業(市町村	分)検証	シー	ト【4	〉表用】					
事業番号	4 - ②		沖縄語(しま	くとぅば)保	存継承事業		沖縄	21世紀	ビジョン	第3章	章一1-	-(4)-7	7		
・事業名		!						計画該		沖縄の文化環境づくり	上の源	流を確認	できる		
担当部課名	教育委員会	文化振興	課	事業実施 (予定)年		3年度		振興基 該当箇		<u> </u>	ш-з-	-(2)			
事業内容			や歌詞を支えてきた 吾になじみの薄い幼!					地域の	沖縄語を	調査、整理	し、沖糸	電語に親	しめる		
効果発現年度	口当年度	ž	■後年度(令和	口元年度)											
実施方法	■直接実	€施	■委託 □	補助	□負担	口その	他()							
			26年度		27年度	2	8年度		29年	度		30年度			
	-	7予算額	6	,052	6,062		5,9	00	7				6,260		
	予 (b) 予算		6	,052	5,095		5,0			6,130			7,436		
	状化和	或額(b−a)		0	▲ 967		▲ 8	83		▲ 945			1,176		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」 ペース) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)			_	052				17		6 120			7 426		
			,052	5,095 5,095		5,0	-		6,130 6,097	·					
			,000	4,076		4,0	+		4,877			7,436 5,948			
			7	0	0		4,0	0					0,040		
			8	2.6%	100.0%		100.	0%		99.5%			100.0%		
	予算の状況	兄の説明	計画的な予算執行	に努め、業務	祭を遂行した。					1					
		T = 1 D	# (45 4#)					達成	伏況						
	Н	l30活動目 [‡]	票(指標)		27年度	Ę	28年月	ŧ	2	9年度		30年度	Ę		
				目標	(実施)	(実施	į)	(実施) (実施	į)		
	沖縄語の聞き	き取り調査			·	•			·		+				
+				実 績	実施		実施			実施		実施			
活動目標(指標)				目 標	()	()	() (実施	<u>i</u>)		
及び達成状況	教材(パンフ)	レット)の作	∶成・配布												
				実 績								実施			
			負してきた民話や聞くとうば)を保存継え							-1,000部発	刊した				
	Н	130成果目	票(指標)		基準値 (年度)	н	30年度	R1	年度	R2年原	臣	目標(年			
	教材(パンプ	フレット)のイ	作成 完了	目標	() (5	完了)	(:	()	()		
	•村内小中学			実 績			完了						/		
成果目標 (指標)	【R1成果目標		まる田知ぶ河十二	目標				(8	30%)					
	たか(80%以」	E)を含め、	電話の理解が深まっ 沖縄語の保存継承	宝结									/		
		ングート調	査により検証する。	実績								/			
			とうば教材(パンフレ)でも沖縄語に親しめ			作した小冊	子を村内幼	稚園や	小中学校	、村内各自	治会等	へ配布し	八児		

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・小冊子配布先の保育園や学里保育、目治会、図書館寺においては児里生徒へ読み聞かせを実施しており、しまくとうばを直接耳にし親しむ機会が増えている	・これまで実施された読み聞かせの内容や課題等について、アンケート調査を実施し今後の取り組みに活かせるようにする。 ・今後は、しまくとうばの話者の派遣や講座などを開催し直接しまくとうばに触れる機会を増やす。

各地区の自然や動植物を取り上げ沖縄語(しまくとうば)教材を制作し、子どもらが沖縄語の魅力に親しめる教材を増やし、提供していく。また、学校、自治会、 読み聞かせを行う団体、 個人等にて、 製作した教材を継続的に活用していく。 令和元年度は、9月14日(土)から10月12(土)までの毎週土曜日、合計5回の予定で「しまくとうばで語る民話」講座をユンタンザミュージアムにて開催する。



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金金の	0		〇印刷業者は指名競争入札等を行い、最低価格提示事業
の流点を	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	者へ決定し発注したので妥当と考える。 〇予算規模は印刷委託業務において入札残が生じたが、委 託仕様のとおり業務を遂行でき適性規模である。
検費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	しまれている。 〇費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な ものなのか等について、額の確定時において支出等に関す
•	0		る書類により確認し、適正であった。

市町村名			読谷村	\neg												
	2	<mark>F成3</mark>	O年度	沖縄振興特別	J推進3	交付	金事業(市町	村分)検	正シー	- - [公表用]		
事業番号	,	4-(3)		ユンタンザミュージブ	アム駐車が		基基礎調查業	楘		油細	21世紀	ぱゃきョッ	第	3章-1	-(4)-	ア
- 事業名			<u> </u>		, — »g ,	Л 1E m.		123			計画該		沖縄の文環境づくり		流を確	認できる
担当部課名	教育	委員会	文化振興	!課	事業実(予定)至		平成30~33	3年度		沖縄	振興基 該当箇		現場 ノン・	-	3-2	
事業内容	備に	向けた基	基礎調査を			ī者の;	ための駐車場	易を整値	備するこ	とによ	り、来訪	者の利便	性の確保	を図るが	こめ、駐	車場整
効果発現年度] 当年度		■後年度(令和		<u> </u>	~ 1=		- 1114	-						
実施方法	L]直接実	₹施 ————		補助		1負担	□₹	その他)	-	- <u>-</u>		/- !	
	_	(2) 当者	H30年度 R元年度 R2年度)当初予算額 12,172		度		R3年度			R4年原	隻					
	予				.484											
	算の	算 (D) 计异列码			312		0				0		0			0
The Adv Act	状 (d) 繰越額			<u> </u>	312						0					
予算額 · _ 執行額	沈		計 (b+d)	12	.484		0				0		0			0
【単位:千円】	B. 執行済額			,484												
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付金充当額		<mark>-</mark>	,986												
ベース)	<u> </u>	次年度網			0											
				101	0.0%		#DIV/0!			#DIV	/0!		#DIV/0!			#DIV/0!
	予算の状況の説明 当初想定してなかった、測量作業の精度を保つための基準点設置のため事業費を増額し、業務を遂行した								した。							
						_										
		Н	130活動目標	湮(指煙)							達成	伏況				
			30/ <u>C</u> 3/, Li	宋(1日1 本)			H30年度	麦		R元年	度	R	2年度		R3年	F度
					目標	i (基礎調査の	の実) ()	() ()
				及び世界遺産座喜)駐車場整備に向け	口 1示	'	施) (,) ()
		礎調査の		mg	実 績	í	基礎調査の	実施								
活動目標	<u> </u>				 	+										
(指標) 及び達成状況				ļ	目標	() ()	() ()
A.O. ÆIN VIII				ļ	実績											
	<u> </u>				天 恨											
	達成状況説明	ュン:	タンザミュ	.一ジアム南側駐車:	場整備基	§礎調		こおい	ハて、測	量•地	9質•磁领	뒧探査等	の基礎調]査を実		
	H30成果目標(指標) 基準値 (年度) H30年						H30年原	变	Rπ	年度	R2年	度		標値 I年度)		
					目標	() (基礎調査 の完了		()	()	()
	基礎	調査の完		ļ	 	-			い元」							
	l			ļ	実 績		/	基础	礎調査σ	完了						
成果目標	[R4]	成果目標	<u> </u>		_ _					_ \		,	,	,	,	200/
(指標)	ユン	タンザミニ	ュージアム	及び世界遺産座喜 が確保されたか	目標) ()	()	()	(,	80%)
及び進捗状況	(80%	6以上)を1		核駐車場のあり方を	実 績	i										
	進		11-より快	証する。	Ш											
	造捗状況説明	フェンタ ラ後、		−ジアム南側駐車場雲 ・基に、実施設計、用は				いて、氵	則量•地설	質•磁	気探査等	₹の基礎:	周査の報告	÷書を作	∶成した	٥

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	基礎調査を実施し、駐車場整備にかかる工法案を複数提案するなど規模を 決定するための検討資料とする報告書を作成した。 ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡への来訪者の利便性の確 保を図るため、駐車場に付帯する設備についての検討が必要である。	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡への来訪者の利便性の確保を図るため、駐車場に付帯する東屋やトイレ等について合わせて検討していく必要がある。
	A 40 - T- 1140	A1

ユンタンザミュージアム南側駐車場実施設計を令和元年度、その後用地購入、整備を進めていく。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
12,484	12,484	9,986	2,498	



ユンタンザミュージア ム南側駐車場整備 基礎調査業務委託

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金金の流	0		〇受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を
点れ、検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 〇予算を途中で増額しているが、当初想定されなかった測量作業 の精度を保つための増額であり、予算規模は適切な規模であった
評費価目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	の相接を味りための指領であり、ド昇放候は適切な放展であった と考える。 〇費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に
	0		即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		į	売谷村														
	平	成 3	O年度	沖縄排	長興特 別	川推入	進交 作	寸金事業	市	町木	村分)検	証シ-	- - [公表用]		
事業番号 • 事業名	5-	-1)		ſ	中学生海外	ホーム	ステイ	派遣事業				21世紀				5-(4)-ア	
		j				18 1	华中长					計画該		国際社会 教育の推		社会に対	応した
担当部課名	教育委	員会	教育総務	課・学校	技指導課		業実施 定)年度	平成25~3	3年度	ŧ	沖縄	振興基 該当箇			Ш-;	3-(2)	
事業内容	村内 成を目		生12人を፤	夏休みの	1ヶ月間を和	钊用し、	. 英語圏	旧短期間派遣	<u></u> 遣し、7	ホ −₋	ムステイをす	ミ施する	ことにより	、国際性な	は視野	を持つ人材	才の育
効果発現年度	= :	当年度	Ę	□後	年度(年月	隻)										
実施方法	Ī	直接実	手施	□委託		補助		口負担	□負担 □その他)					
	(a) 当初予算額		26年度	,600	2	<mark>7年度</mark> 3,600		2	28年度	600	29年月				3,600		
	予 (6) 予質用類				,600		3,600				600		3,600			3,600	
	第 の (c) 増減額(b-a)					0		0,000				0		▲ 300			
予算額・	J+;	d) 繰越			_						_					_	
執行額	況 (d) 無 と 倒 A. 計(b+d)		3,	,600		3,600			3,6	600		3,300		3,60			
【単位:千円】	В.	. 執行	済額		3,	,300		3,600			3,6	600		3,300			3,600
(「交付金」+ 「市町村負担」 ペース)	う	ち交付	金充当額		2	,640		2,880			2,8	380		2,640		2,88	
_ _\(\)	次年度繰越額			0 0			0			0			0				
	執行	率(%	6) (B/A)		9	1.7%		100.0%			100	100.0%		100.0%			100.0%
	予算	の状況	兄の説明	当初の記	十画通り予算	草を適う	正に執行 	うできた。 									
			ᇬᄯᄘᄆᄖ	π / ↓ 								達成	状況				
		H	30活動目標	票(指標)				27年度	Ę		28年月	变	2	9年度		30年月	
						目	標	(12名)	(12名	3)	(11名) (12名	፭)
	短期留	?学費∂	の支援 12:	名		実	績	12名			12名	1		11名		12名	
活動目標) (
(指標) 及び達成状況						Н	標	()	(() ()
						実	績										
	達成状況説明	村内	在住の中	学生の船	呆護者12名	名に対り	して、短	更期留学費1.	人あ	たり	300,000円の	D補助金	金を交付!	した。			T. Leb.
		Н	30成果目標	票(指標)				基準値 (年度)		3	30年度	31	年度	32年	度	目標 (年	
	保護者へのアンケート な視野が広まったと回 以上					目	標(() (80	%以上)	()	()	()
			ドソルと凹音	でたら	. 80%	実	績				100%						
成果目標 (指標)	【参考:	参考指標】				目	標(() ()	()	()	()
及び進捗状況						実	績										
	進捗状況説明	帰国	後のアンケ	·ートの結	果、派遣し	た生徒	:に関して	て国際的な視	野が加	太まっ	ったと感じた	保護者の	の割合は	100%であ	り、目れ	票を達成し	た。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	派遣対象生徒を村内にある中学校に在籍する生徒に限っていたが、村外にある中学校(私立等)に在籍する村内在住の生徒も派遣対象にしたことにより、より広く生徒が応募できるように改善できた。 なお、学校現場及び保護者のアンケートからは現在の補助額では経済的負担が大きいとの意見が寄せられている。	前年度の課題は解決できたが、留意点に記載した経済的負担に関して派遣人数の削減による補助率の引き上げなどの対策を検討したい。

今後も継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つと共に社会に貢献できる人材の育成を図る。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
3,600	3,600	2,880	720	0



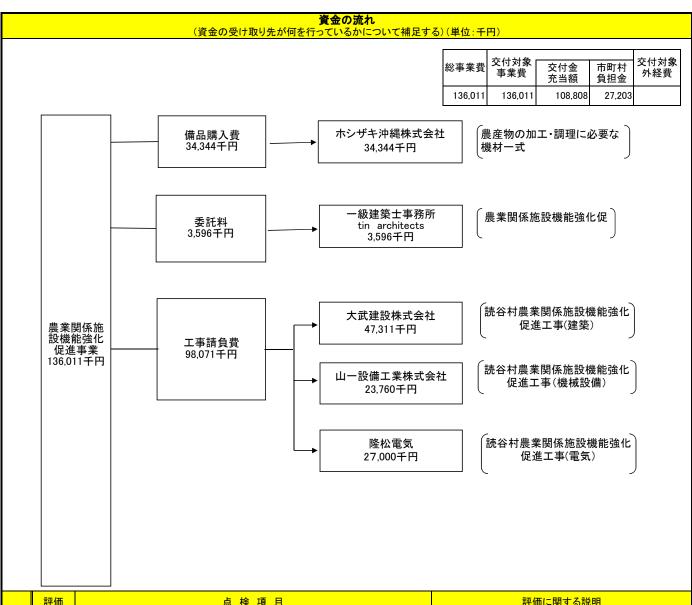
中学生海外ホームステイ派遣事業に かかる経費

-	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の点検	0	支出先の選定方法は妥当か。	〇派遣される生徒は、教育委員会で書類及び面接によっ 公平に選考しており、選定方法は妥当である。					
	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○読谷村補助金交付規則に沿って予算規模を設定しており、適正な規模である。○受益者との負担関係は、読谷村補助金交付規則に沿っている。					
評費	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	○安証者との責担関係は、読谷や情助金文や規則に沿って おり、妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも					
•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	のであるか等について支出等に関する書類により確認、適 正である。					

市町村名			読谷村														
	平	成3	O年度	中縄振り	具特別	推進	交付金	金事業	(市	町木	寸分)枝	食証シ	- ト	【公表月]]		
事業番号・事業名	6	- ①		農	業関係施	設機能	 皆強化促	進事業			沖縄	21世紀	ビジョン	穿	3章-	3-(7)-イ	
* 争未石			<u> </u>				Bb -4 1.4					基本計画該当箇所		流通・販売・加工対策の強		対策の強	化
担当部課名	ゆた	さむら	推進部農業	推進課			業実施 定)年度	平成28~	平成	30年度	沖	<mark>縄振興基本方針</mark> 該当箇所			Ⅲ — 1	-(6)	
事業内容	地域内農林水産物の利用促進と新たな雇成した実施設計を元に、H30年度は読谷村								(読谷村農	村女性の	9家)の機	能強化を実	ミ施する	る。H29年度	度に作		
効果発現年度]当年原															
実施方法	_	■直接到	実施 	■委託		補助		□負担 左席	[)他()	01/5			00左曲	
	_	(a) 当礼	切予算額	2	<mark>8年度</mark> 5.4	494	29	年度 6,023	3	3	<mark>80年度</mark> 133.	179	31年月	艾		32年度	
	予 (b) 予算現額				494		·		136,								
	の	(c) 增派	或額(b-a)			0		1 ,703	3		2,	878		0			0
予算額・	状況	(d) 繰走	述額		_			-			_						
執行額 【単位:千円】			計 (b+d)		5,4	494		4,320)		136,	.057		0			0
(「交付金」+	,	B. 執行				400		4,320	-		136,						
「市町村負担」 ベース)		次年度繰越額				4,320 3,456 0 0			+	108,808							
	執行率 (%) (B/A)				98	3.3%		100.09	1		100	0.0%		#DIV/0!		#[DIV/0!
	120		-7 (-7:4						1								
	予	算の状況	況の説明	当初予算額 られた。	額よりも増	額とな	ったが、	新たな設備	工事	や、原	房器具の	購入等に	より、加コ	□施設として	【機能	強化の充実	€が図
												達成	√+ ;□				
	H30活動目標(指標)						г						<u> </u>		_		
					0.004			H30年	度		R元年	=度	R	2年度		R3年度	
	〔施討	以概要〕	で性の家の機 谷村字都屋1	能強化工事	の美施	目	標 (実施	Ē)	()	() ()
	主要	機能:農店	を物加工所 を物加工所 ンクリート平原			実	結	実施	ī								
活動目標		積:261m					154			_							
(指標) 及び達成状況						目	標 ()	()	() ()
20 2120 1120						実	績										
	\ <u>+</u>																
	達成状況説明	平成産物		テった実施記 ーとしての						月から	らは指定管	理が開始	され、今	後は指定管	管理者	により、農	林水
		F	H30成果目标	票(指標)				基準値 (令和元年)	隻)	平月	成30年度	Rπ	年度	R2年	度	目標((R5年	
						目	標 ()	(機制	能強化工 の完了)	()	()	()
	読谷	村農村女	(性の家機能	強化工事の	完了 -	実	績				施化工事 の完了						
成果目標 (指標)		成果目標 村農村:		加工し配膳	1 <i>t-</i>	目	標 ()	()	(1.12	t/年)	()	()
及び進捗状況			の量 1.12t		10/2	実	績										
	進捗状況説明	実施たりの		づき機能強1 増やしてい						台され	た。作業員	は、新規	設備を用	いた調理の)習熟[度を高め、	1日当

今後の取り組み方針

実施計画に基づき、今後も地産地消を進めていく。平成31年度からのケータリングサービスの開始に向けて、引き続き関係機関・部署との調整を行っていく。段階的な事業展開を支える協議会の設置等についても検討を行う。



	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明						
使金の		0	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託事業者は一般競争入札で選定しており、						
	の流 点れ 検 、	0		当であったと考えている。 〇厨房機器の充実は配食・加工野菜にとって必須事項であ						
夜費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	り、適正な規模であった。 〇費目、使途については精算段階で検査を実施しており、							
ı	•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	目的に即し、必要なものであったと判断した。						

市町村名		読谷村											
	平	成30年度	沖縄振興特	別推	進交付	金事業(市町木	分)検証	Eシ-	- - [公表用】		
事業番号	7 -	- (1)	読谷村工芸品	- 単外ブ	゚ロモーショ	ン戦略事業		沖縄?	1世紀	ビジョン	第3፤	章-1·	ー(5)ーイ
- 事業名				71.71+		/ 7x = 1 - x			計画該		伝統工芸品ものづくり点		活用した完成型
担当部課名	ゆたさ	さむら推進部 商	江観光課		事業実施 P定)年度	平成26~33	3年度		總振御其太古針		Ⅲ-1-(7)		
事業内容		読谷村では、1978年に策定した「ヤチムン 及びプロモーション活動を実施し、販路拡大						工芸の持続	的発展	を図るため	め、県外にお 	おける ⁻	マーケティング
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)											
実施方法		直接実施	■委託 [口補助	<u> </u>	□負担	□その	他())				
			H26年度		H27	7年度	H2	28年度		H29年	度		H30年度
		(a) 当初予算額	1	4,259		13,234		12,9	93		12,352		9,992
	算	(b) 予算現額	1	2,463		12,946		12,0	-		8,800		6,610
	の ()	(c) 増減額(b-a)	A	1,796		▲ 288		▲ 9	62		▲ 3,552		▲ 3,382
予算額・	況	(d) 繰越額	-			_		_					-
執行額 【単位:千円】		A. 計(b+d)		2,463		12,946		12,0	_		8,800		6,610
(「交付金」+	,	3. 執行済額		1,447		11,322		11,3	+		8,279	6,21	
「市町村負担」 ベース)	うち交付金充当額			9,157		9,057		9,0	_	6,623			4,971
		で年度繰越額		01.00		07.5%		04	0		04.1%		04.0%
	料 1丁	·率(%)(B/A)		91.8%		87.5%		94.	4%		94.1%		94.0%
	予算	の状況の説明	事業の効率化に努 予算減額の▲3,38					額の確定の報	執行残(こよる減額	頁である。		
		H30活動目標	亜(指煙)		_				達成	伏況			
		100/E #/ E 1/	天(1日1水)		H27年度		Ę	H28年[隻	H2	29年度		H30年度
	=76	マーケティング等の	○中性 2回	T_E	目標 (実施)	(実施)	(5	実施) (3回)
	7.4	マークティング寺に	の実施 3回	芽	€ 績	実施		実施		543	実施		3回
				E	1 標 (実施)	(実施)	(5	実施) (1回)
	物産用	そへの出店 1回		身	€ 績	実施		実施		実施		1回	
活動目標				F	目標 (生 実施)	 (実施) (2回)
(指標) 及び達成状況	展示会	会の出展 2回		身	€ 績			実施		5	 実施		20
					目標 ()	()	_) (
	周知用	月媒体ツールの作	成	-	と 績		,				実施		実施
	達成状況説明	への周知及び 展示会はテージャパンでは、 誘客を周知し、	イングについては 販売、並びに本本 ブル&キッチンウ マチムン等の伝統 現地消費の促進 周知用媒体として	TENC すで開 ェアE) エ芸を図っ	DHA代官に 催される『 XPOでは』 をメインに った。	陶器市等への 食卓で使用で 本村への旅	の観光誘 される商品 行素材を	客の周知を 品を取り扱 バイヤーに	そ行った うバイヤ こ商談し	L ポン全国 :。 ! 一への! 」、一般客	制物産展へ 周知を図り 客の方には)、ツー :本村の	、直接消費者 -リズムEXPO の陶器市への
		H30成果目標	票(指標)			基準値 (年度)	н	30年度	H31	年度	H32年/	度	目標値 (年度)
	陶器市	うの来場者数		E	目標 (.057人)	'人) ()		()	()
成果目標 (指標)				実	€ 績		14	1,302人					
及び進捗状況	進捗状況説明	て70%から75% またアンケート[っことができた。 改は昨年度より521. に増加していること 回答者の県外回答: の方の認知度も向	とかられ 者は昨	本村のヤチ ∓度と比輔	- ムンの認知原 較して147人か	度向上に繋	とがって いる	0				

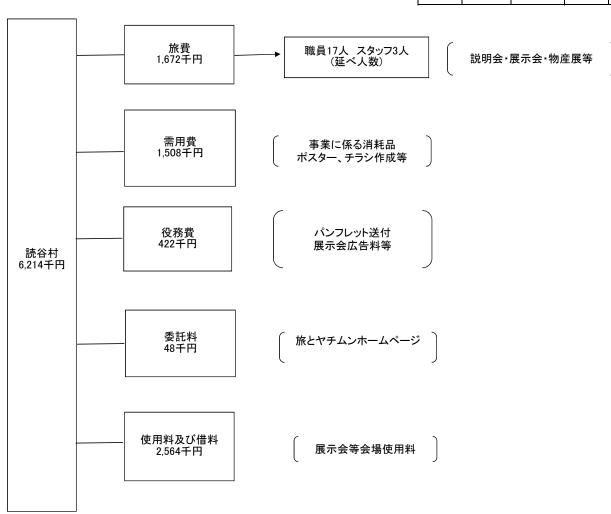
#進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 「ないまする「読谷村のヤチムン」の認知度向上に加え、テストマーケティングによる一般消費者ニーズの掘り起こしが必要である。また、現地消費の拡大による本村のヤチムン窯元の全体的な底上げも必要である。 「おまで継続的に行ってきた展示会、物産展等への出展によるパイヤーへの周知、テストマーケティングによる一般消費者等への周知に加え、ヤチムン紹介映像や陶器市等のチラシのほか、より技術的な魅力を一目でわかる新たなセールスツールを活用したPR手法によるプロモーションを行う。また、村内窯元が組織化することができれば窯元同士の協力や関係団体からの補助等により、ヤチムン全体の強化を図ることができると考えられるため、組織化に向けた意見交換などの場を引き続き設ける。

今後の取り組み方針

これまで首都圏で行われてきた物産展及び展示会、テストマーケティングだが、次年度はギフトショー及びツーリズムEXPOジャパン等が関西で行われるため、 別地方のバイヤー及び客層への周知活動を図る。また、ヤチムンをはじめとする本村伝統工芸品により興味関心をひくための新たなツールの作成し、活用した プロモーションを行うとともに、窯元の組織化に向けた意見交換を実施する。

資金の流れ

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,214	6,214	4,971	1,243	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使金の流の流	0		○旅費については、村内旅行業者2社からの見積徴収により、 低価格者へ決定し発注しているため、支出先の選定は妥当であ					
点れ検、	0		たと考えている。 〇本村の工芸品プロモーションを行う事業に見合った予算規模					
評費価目	-	支益有との負担関係は妥当でめるか。	ある。 ○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なもので					
- IIII EI	0	悪口・床を杉声楽りがに叩し 青に沙亜か+ のに叩合さんていてん	あるか、支出先に関する書類により確認しているため適正であると 考えている。					

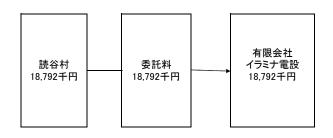
市町村名		1	売谷村													
	2	呼成 3	0 年度	沖縄振興	特別	推進交	付金事	第(清		村分)検	証シ-	- - [-	公表用】			
事業番号	8	- (1)			低炭素	社会構築	事業			沖組	21世紀	ビジョン	第35	章-1	- (3) - ヴ	7
- 事業名					13.5						基本計画該当箇所		低炭素都市づくりの推		進	
担当部課名	総務	部生活现	環境課			事業実施(予定)年		30~3	3 2 年	度沖	沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ −10−(1)		
事業内容	防犯	灯等をL	ED照明に	切替、温室効:	果ガス(環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊 (CO2)の排出を抑制する。		を自然豊か	な環境に	二配慮した	村づくりの打	推進を	図るたたと	めに、		
効果発現年度		当年度		■後年度			口名扣	ı	□ Z/	~ lı⊾ /	`					
実施方法		直接実		■委託 H30年	□ i		□負担 131年度			の他 (H32年度)	H33年	帝		H34年度	
		(a) 当初]予算額	riou-	H30年度 H3 ⁻ 19,440		131平区		<u>,</u>	132十段		Поо-			N94十1又	
	予算	(b) 予算	現額		19,4	40										
	の	(c) 增減	i額(b-a)			0		0			0		0			0
予算額・	状況	状 (d) 繰越額		-												0
執行額 【単位:千円】		A. Ē	+ (b+d)		19,4	40		0	0				0			0
(「交付金」+	B. 執行済額 18				18,7	92										
「市町村負担」		うち交付	5交付金充当額 15,03													
	次年度繰越額					0										0
	執	行率(%	(B/A)		96.	7%	#0)IV/0!		#DI\	V/0!		#DIV/0!		#	DIV/0!
	予	算の状況	兄の説明	不用額648千	円は、 <i>入</i>	人札残による	るものであ	5 る。								
	H30活動目標(指標)									<u> </u>	達成	状況				
	1100/日到日本(日本)					H30年度			H31年	F度	н	32年度	H33年度			
						目 標	(実施)	()	() ()
	防犯	灯現況訓	間査の実施	į		実 績		実施								
活動目標(指標)							()	(() ()
及び達成状況						□ 1x										
						実 績										
	成状況説	達成状況 説明 防犯灯現況調査を予定通り実施し 明						-								
		Н	30成果目標	票(指標)				集値 F度)	ŀ	H30年度	R1	年度	R2年原	芰	目標 年	
	n.L.v.					目標	()	(完了)	()	()	()
	防犯	灯 垷况訂	間査の完了			実 績		/		完了						
成果目標(指標)	【R2]		!]			目標	()	()	()	(268.5t	t)	()
及び進捗状況		灯のLED 5t-CO2	化によるの	O2排出削減量	<u> </u>	実 績										
	進捗状況説明	防犯的	灯現況調査	をが完了したこ	とで、目	標を達成し	た。今後	は調査の	内容を	活用し、LEC	化工事を	行う。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	今年度の取り組みで、作成した資料を活用し、円滑なLED化の工事発注を 行う必要がある。	計画通りに工事を完了させるため、早期の工事発注に取り組む。
取組		
の検証		
証		
	A # 2 = 112	

今年度での取り組みで作成した防犯灯管理台帳及び現況配置図を活用し、工事の着手地域の選定を早急に行うことにより、防犯灯のLED化への移行をスムーズに実施し、CO2排出量の削減の実現に取り組む。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
18,792	18,792	15,033	3,759	0



防犯灯の現況調査

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使金の流の流		支出先の選定方法は妥当か。	O-E			
点れ検		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	──○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと えている。──○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。			
評費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇			
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	000 との りたとではした。			